# 泉崎村 地域創生に関するアンケート調査 報告書

平成27年10月

泉 崎 村

## 目 次

序章	調査の目的と内容	
1	調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2	調査票の配布・回収状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3	調査項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
4	報告書の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
I章	アンケート調査結果の総括	
Ⅱ章	アンケート調査結果の内容	
(1)	性別 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1	4
2	年齢 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1	5
(3)J	職業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1	6
4)	居住地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1	8
問	1居住状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2	20
問	1-1転入してきた理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2	22
問	2村の住やすさ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2	24
問	3村の魅力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2	26
問	4住みよさとは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2	28
問	5村での定住意向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3	30
問	5-1転出する理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3	32
問	6人口減少が与える影響や不安要因 ・・・・・・・・・・・・・ 3	34
問	7村の将来人口についての認知度 ・・・・・・・・・・・・・・ 3	36
問	8人口減少問題に対する考え ・・・・・・・・・・・・・・・ 3	88
問	9人口減少を克服するために重視すべきこと ・・・・・・・・・・・・ 4	10
問	10 独身・既婚状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4	12
問	10-1 結婚していない理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4	14
問	10-2今後の結婚について ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4	16
問	10-3結婚する前の居住地 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4	18
問	10-3-1 結婚後、泉崎村に転入してきた理由 ・・・・・・・・・・・ 5	50
問	11 重点的に取り組むべき結婚支援策 ・・・・・・・・・・・・・・ 5	52
問	12 現在の子どもの数 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5	54
問	13 将来の子どもの予定数 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5	56
問	14 理想とする子どもの数 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5	58
問	15 理想とする子どもの数実現のための障害要因 ・・・・・・・・・・・・・ 6	60
問	16 出産・育児に関して村が力を入れるべきこと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	52
問	17 就労の有無と就労の場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	64
問	17-1 働いていない理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	66

問 17-2 現在の仕事の満足度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 68
問 17-3 就労環境で改善して欲しいこと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 70
問 17-4 村外での就労場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 72
問 17-5村外就労者の村内居住の理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 74
問 18 就職・転職の希望 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 76
問 $18-1$ 転職する場合の希望職種 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 78
問 19 地域経済活性化へ向けて取り組むべきこと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 80
問 20 通学先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 82
問 21 進学や就職にあたっての居住地 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 84
問 21-1 村内に住みながら通学・就職をしたい理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 86
問 21-2 希望する進学・就職先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 88
問 21-3 転出する理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 90
問 21-4 将来的な泉崎村へのUターン意向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 92
自由意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 94



## 調査の目的と内容

## 1 調査の目的

このアンケート調査は、泉崎村の「人口ビジョン・総合戦略」の策定に向けて、村内住民のまちづくりに対するニーズ等を把握し、計画策定の基礎資料とするために実施しました。

## 2 調査票の配布・回収状況

本調査の配布・回収状況は以下の通りです。

項目		内容				
配布対象者		18 歳以上~50 歳未満				
実施時期		平成 27 年 8 月				
	配布数	1,000票				
配布・回収	総回収数	293 票				
状況	回収率	29.3%				
	内、有効票	293 票				

## 3 調査項目

調査の項目は以下の通りです。

	回答者の属性					
	性別、年齢、職業、居住地区					
	泉崎村について(居住状況や定住意向等)					
問1	居住状況、転入してきた理由					
問 2	村の住みやすさ					
問3	村の魅力					
問4	住みよさとは					
問 5	村での定住意向、転出する理由					
	人口減少社会におけるまちづくりについて					
問 6	人口減少が与える影響や不安要因					
問 7	村の将来人口についての認知度					
問8	人口減少問題に対する考え					
問 9	人口減少を克服するために重視すべきこと					

	結婚について							
問 10	独身・既婚状況、結婚していない理由、今後の結婚について、結婚する前の居住地、結							
	婚後泉崎村に転入してきた理由							
問 11	重点的に取り組むべき結婚支援策							
	出産・育児について							
問 12	現在の子どもの数							
問 13	将来の子どもの予定数							
問 14	理想とする子どもの数							
問 15	理想とする子どもの数実現のための障害要因							
問 16	出産・育児に関して村が力を入れるべきこと							
	働くことについて							
問 17	就労の有無と就労の場所、働いていない理由、現在の仕事の満足度、就労環境で改善して欲しいこと、村外での就労場所、村外就労者の村内居住の理由							
問 18	就職・転職の希望、転職する場合の希望職種							
問 19	地域経済活性化へ向けて取り組むべきこと							
	学生に対する今後の進学や就職の希望について							
問 20	通学先							
問 21	進学や就職にあたっての居住地、村内に住みながら通学・就職をしたい理由、希望する 通学・就職先、転出する理由、将来的な泉崎村へのUターン意向							
	自由意見							

## 4 報告書の見方

○分析にあたっては、次の項目を基本としています。

□総数

口性別

口年齡別

口地区別

- (注:年齢別、地区別については母数が小さくなるため、特徴・傾向を読み取るのが難しい場合もあり、表現が不統一(%、実数等)となっている箇所があります。)
- ○グラフは総数の結果を示し、集計表において上記の性別・年齢別・地区別のクロスを記載しています。
- 〇選択肢の言葉で長いものは、文章中では適宜簡略化した表現を用いている場合があります。
- ○報告書中の以下の省略を使用しています。

SA: シングルアンサーの略、選択肢の中から一つを選択する設問。

MA : マルチアンサーの略、選択肢の中から複数選択可能な設問。

- 〇構成比の数値は四捨五入で表示されており、合計値が100.0%にならない場合があります。
- ○クロス集計表の各クロス項目(性別・年齢・居住地区)については『不明』を除いているため、 各設問の回答者数とは一致しません。

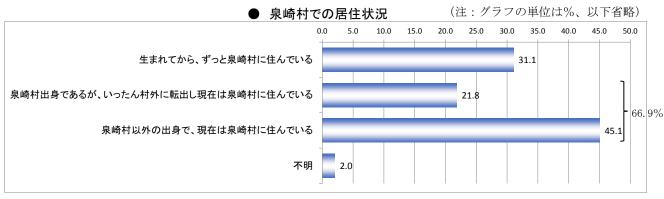


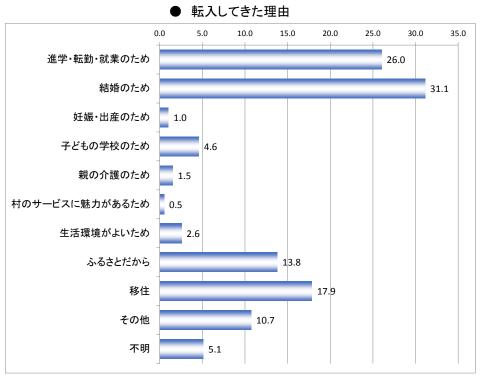
## アンケート調査結果の総括

アンケート調査の設問ごとの結果は、「II 章 アンケート調査結果の内容」に記載しています。 ここでは、その結果からみた特性と課題について概括しています。

## 泉崎村の若い層は、"U・I・Jターン者"の割合が高い

- 今回のアンケート調査は「18歳以上50歳未満」を対象としています。この年齢層では、「泉崎村出身であるが、いったん村外に転出し現在は泉崎村に住んでいる」「泉崎村以外の出身で、現在は泉崎村に住んでいる」いわゆる"U・I・Jターン者"の割合が66.9%を占めています。
- 転入の理由をみると、「結婚のため」と「進学・転勤・就業のため」が多くなっています。近年婚活イベント等が全国各地で実施されていますが、若い人を村に呼び寄せるという視点から有効な対策といえます。また、"働く場"を確保することも重要ですが、村内だけでなく周辺地域との連携の中で"働く条件を確保する"という視点も必要と考えられます。
- 〇 単に転出を抑制するだけでなく、魅力ある村づくりを進めることにより、一旦転出した人や、新たな移住者等の積極的な流入を図ること、あるいは『通勤条件を整え"住"環境を整えること』といった対策を講じることも有効な手立てといえます。

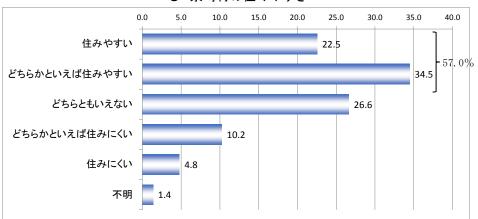




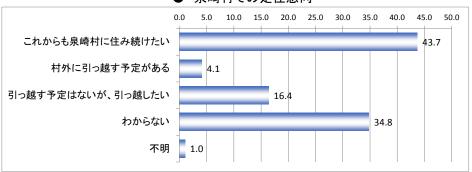
## 泉崎村の住みやすさについての評価は高く、定住意向も強い

- 泉崎村の住みやすさについては、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』という評価が 57.0%と過半数を占めています。
- また、定住意向についても、「住み続けたい」が43.7%と最も多く、次いで「わからない」が3 割以上を占めています。「わからない」「引っ越したい」と回答した人たちの定住性を高めることが、 "人口減少の抑制"という視点からは重要な対策となります。

### ● 泉崎村の住みやすさ

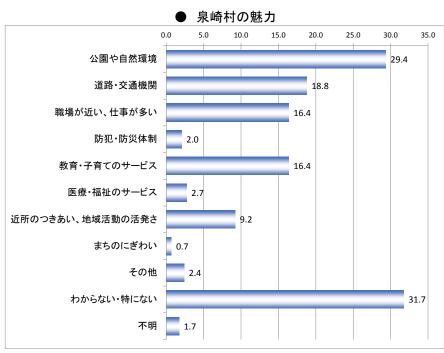


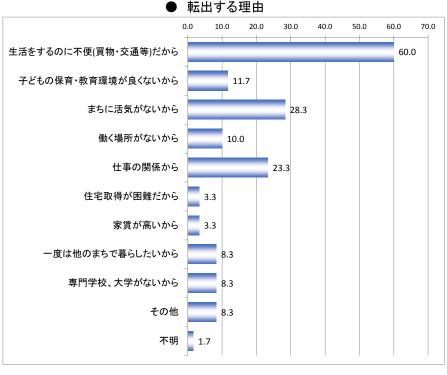
### ● 泉崎村での定住意向



## 泉崎村の強みを活かし、弱みを克服する対策が必要

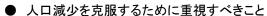
- 泉崎村の魅力についての回答は、「わからない・特にない」が最も多くなっています。
- 泉崎村には優れた里山の環境、旧奥州街道の歴史・文化的ストック、国際サイクルスタジアムに代表される各種スポーツ・レクリエーション施設、温泉資源等の資源があり、教育・子育てについても特徴的な取組を進めていますが、住民に十分に認知されていないという側面がみられます。
- なお、転出する理由として「生活をするのに不便(買物・交通)だから」が60.0%となっており、 自由意見においても同様の指摘がみられます。
- 今後、移住・定住を促進するためには、泉崎村の強みを住民へ周知するとともに、住民生活の視点からみた、日常生活の利便性向上が大きな課題になると考えられます。

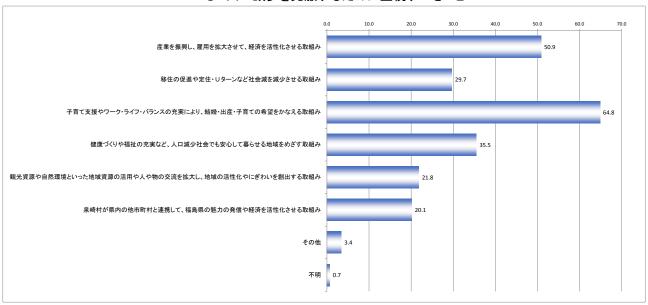




## <u>泉崎村の人口減少抑制</u>対策としては、子育て世代に対する総合的な支援が求められている

○ 人口減少対策として最も重視すべきこととしては、「子育て支援やワークライフバランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」という回答が最も多くなっています。結婚・出産・子育てに関する切れ目ない支援や、育児と仕事の両立を可能とするワークライフバランス対策の充実といった、若い世代が安心して子育てができ、自己実現のための仕事も継続できるという、総合的な支援の充実が求められています。

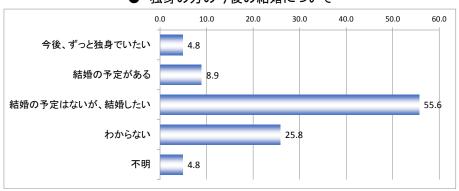




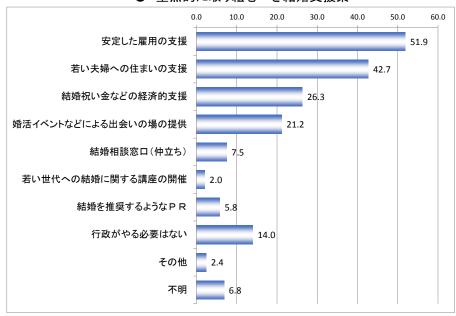
## 村民の結婚の希望は高く、結婚後を見据えた総合的な対策が求められている

- 回答者の既婚割合は57.3%と、半数を超えた程度となっています。
- 一方で、独身の方の今後の結婚希望の割合は高く、独身志向は非常に少なくなっています。
- 結婚を支援するためには、若い人たちの出会いから結婚までの対策も必要ですが、「安定した雇用 の支援」「若い夫婦への住まいの支援」といった"仕事や生活"に対する支援が求められています。
- 若い世代が安心して夢を持って暮らせる総合的な支援が、結婚の促進には必要になることを示しています。





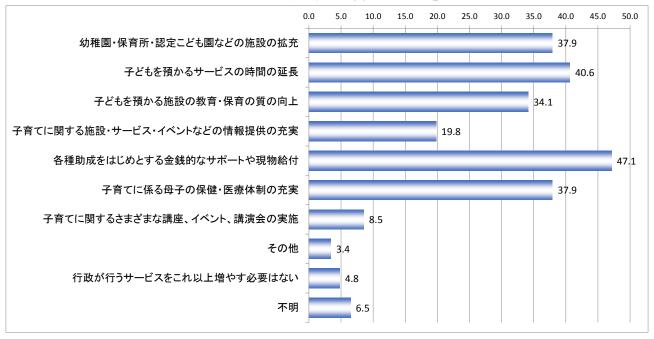
### ● 重点的に取り組むべき結婚支援策



## 子どもを持ちたい希望は高く、子どもとともに親を支援する各種サービスの充実が必要

- 回答者の現在の子どもの数・将来の子どもの数について平均値をみると、「現状: 1.25 人」→「将来: 2.07 人」→「理想: 2.55 人」と子どもを持ちたい希望は非常に高くなっています。
- この希望を叶えるために、子育てに関する経済的な支援だけでなく、子育てに関するハード・ソフト両面の支援内容の充実とともに、親に対する保健・医療対策等、きめ細かな支援対策が必要です。
- ※ 人口動態調査等から算出した泉崎村の合計特殊出生率は、平成25年で「1.26」と国や県の平均を下回っています。

## ● 出産・育児に関して村が力を入れるべきこと



## 雇用力を高めるために、新たな産業や6次産業化の推進等、多面的な取組が求められている

- 地域経済活を活性化させるため、「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」 が求められていますが、その他の対策についても一定の希望がみられます。
- 定住人口の確保という面では、すべての村民に対して必ずしも村内に就労の場を確保する必要は なく、周辺地域において働く場を確保し、通勤の条件を整えるという考え方もあります。
- しかしながら、地域の活力を高める観点からは、域内産業の活性化は重要であり、それは雇用の 確保にも繋がります。「人材育成」「6次産業化の推進」等、多面的な取組が求められます。

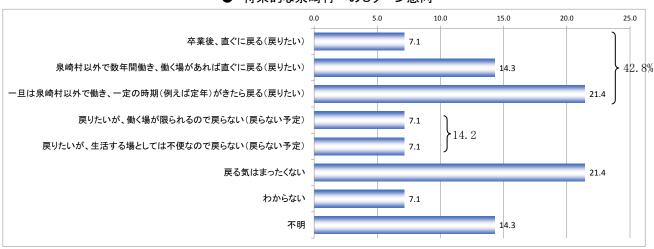
## ● 地域経済活性化へ向けた取り組むべきこと



## 学生のUターン意向は一定の割合があり、受け入れ環境を整備することが求められている

- び 進学や就職にあたって、「一旦は村を出る」という回答が多くなっています。
- 但し、将来は一定の条件が整えば、泉崎村にUターンしたいという意向も多く(42.8%)みられ ます。
- これらUターン意向に着目した対策が、今後の人口減少抑制のためにも、また新たな村の活力を 創造していくためにも必要となります。

#### ● 将来的な泉崎村へのUターン意向





## アンケート調査結果の内容

## 回答者の属性

## ① 性別

(SA)

## <総数>

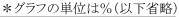
○ 「男性」44.7%、「女性」54.9%となっています。

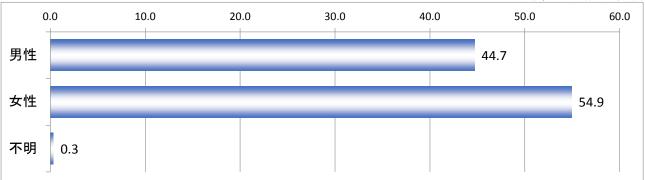
### <年齢別>

〇 40~44歳では「男性」がやや多くなっていますが、それ以外の年齢層では「女性」が「男性」を上回っており、特に30歳代では「女性」が6割以上を占めています。

## <地区別>

〇 「男性」が多い地区は太田川・踏瀬・北平山で、「女性」が多い地区は泉崎・関和久となっています。特に太田川では「男性」が、関和久では「女性」が6割を超えています。





			① 性別		
		合計	男性	女性	不明
				' !	! 
				<b>l</b>	] 
年齢	18~24歳	52	22	30	0
		100.0	42.3	57.7	0.0
	25~29歳	27	13	14	0
	L	100.0	48.1	51. 9	<u>0.0</u>
	30~34歳	45	17	28	ı 0
		100.0	37.8	62. 2	0.0
	35~39歳	58	22	36	0
		<u>100. 0</u>	37.9	62. 1	<u>0.0</u>
	40~44歳	64	34	29	
		100.0	53. 1	45. 3	1.6
	45~49歳	46	22	24	0
		100.0	47.8		
居住地区	太田川	16	11	5	0
		<u>100. 0</u>	<u>68.8</u>	31.3	<u>0.0</u>
	踏瀬	18	10	8	0
		100.0	<u>55. 6</u>	44. 4	0.0
	泉崎	109	43	65	1
		100.0	<u>39. 4</u>	<u>59.</u> 6	<u>0. 9</u>
	北平山	42	22	20	0
		100.0	52.4	47.6	0.0
	関和久	96	37	59	0
		100.0	38. 5	61.5	0.0

- ・表中の 多いもの は、最も
- ・上段は回答数、下段は構 成比

(以下省略)

## ② 年齢

(SA)

## <総数>

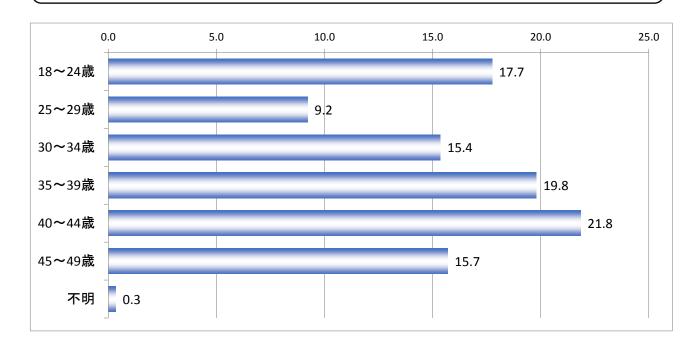
○ 概ね、各年齢層からの回答が比較的均等に得られています

## <性別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

## <地区別>

〇 総数と大きな違いは見られませんが、太田川と踏瀬では「18~24歳」の若い層が多いのに対し、泉崎・北平山・関和久では「35歳以上」の年齢層が多くなっています。



			② 年齢						
		合計	18~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	不明
				) )		] !	l I		1
				) )		! 	] 	{	
	全体	293	52	27	45	58	64	46	1
		100.0	17. 7	9. 2	15.4	19.8	21.8	15. 7	0.3
性別	男性	131	22	13	17	ı 22	34	22	1
		100.0	16.8	9. 9	13.0	<u>1</u> 6.8	26.0	16.8	0.8
	女性	161	30	14	28	36	29	24	0
		100.0	18.6	8. 7	17.4	22.4	18.0	14. 9	0.0
居住地区	太田川	16	4	2	1	3	5	1	0
		100.0	25.0	12. 5	6.3	18.8	31. 3	6.3	0.0
	踏瀬	18	7	3	3	I 3	0	2	0
		100.0	38.9	16. 7	16.7	16. 7	0.0		
	泉崎	109	20	12	14	22	24	17	0
		<u>100. 0</u>	18.3	11.0	<u>12.8</u>	<u>20. 2</u>	22.0	15. 6	0.0
	北平山	42	4	1	7	10	9	10	1
		<u>100. 0</u>	9.5	2.4	<u>16. 7</u>	<u>2</u> 3.8	21.4	23.8	<u>2.4</u>
	関和久	96	15				24		
		100.0	15. 6	8.3	18.8	19.8	25. 0	12. 5	0.0

(SA)

## <総数>

○ 「会社員・公務員など」が 60.1%と過半数を占め、次いで「パート・アルバイト」が 12.3%、「学生」が 9.9%となっています。

### <性別>

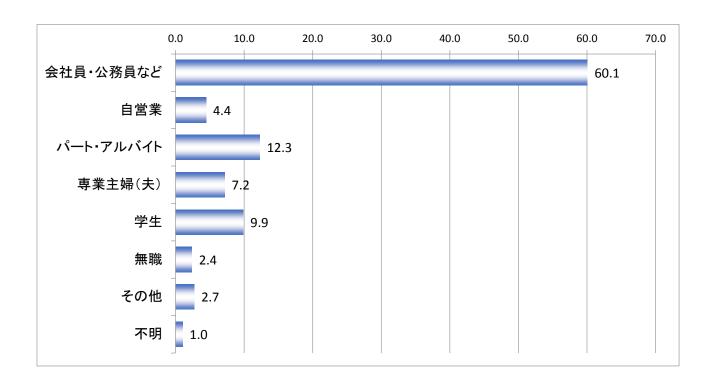
○ 男性では「会社員・公務員など」が 75.6%と8割近くを占めているのに対し、女性では「会社員・公務員など」が 47.2%と半数以下で、「パート・アルバイト」が 21.1%となっています。

## <年齢別>

○ 18~24歳では「学生」が55.8%と過半数を占めていますが、それ以上の年齢層では「会 社員・公務員など」が最も多くなっています。

## <地区別>

○ いずれの地区でも「会社員・公務員など」が最も多くなっています。



			③ 職業							
		合計	会社員・ 公務員な ど		パート・ アルバイ ト	専業主婦 (夫)	学生	無職 I I	その他	不明
	<i>∆I</i> +	293	176	131	36	21	20	7	81	2
	全体	100.0	60. 1	4. 4	12. 3				2. 7	
性別	男性	131 100. 0	99 75. 6	7 5. 3	2 1. 5		13	i 4		2 1. 5
	女性	161 100. 0	76 47. 2	6 <sub>1</sub> 3. 71	34 21. 1	21 13. 0	16	. – – – –	4 <sub>1</sub> 2. 5	1
年齢	18~24歳	52 100. 0	18 346	0 0 0	3 _ <u>5.8</u>	1	29	1	0	0
	25~29歳	27	22	0, 0,	1 3. 7	2 7. 4	0	1	1	0
	30~34歳	45 100. 0	28	2. 2	5 11. 1	7: 4 7: 15. 6	0	0	3. 7 3. 7 6. 7	1
	35~39歳	58 100. 0	36 62. 1	3 5. 2	12 20. 7	4	0.0	1	1	1 7
	40~44歳	64	41	-	7 10. 9	5 <sub>1</sub> 7. 81	0	1	3 <sub>1</sub> 4. 7	
	45~49歳	46 100. 0	31	21	10. 9 8 17. 4	2 <sup>1</sup> . 3 <sup>1</sup> 4. 3	0	2	01	1
居住地区	太田川	16	8	0	1	3	3	ı 0	0	1
	 踏瀬	100.0		0.0	<u>6.3</u>	18.8 0	6	0	0	1
	泉崎	100.0 109	68	0.01 51	11. 1 11	<u>0</u> . <u>0</u>	11		<u>0</u> . <u>0</u>	0
	 北平山	100. <u>0</u> 42	62. 4	4.6	_ <u>10. 1</u> 7	5 <u>.</u> 5	10. <u>1</u>	1	1	0
	関和久	100.0 96 100.0	56	2. 4 7 7. 3	16. 7 14 14. 6	4. 8 9 9. 4	5	4	2. <u>4</u> 1 1. 0	0

## ④ 居住地区

(SA)

## <総数>

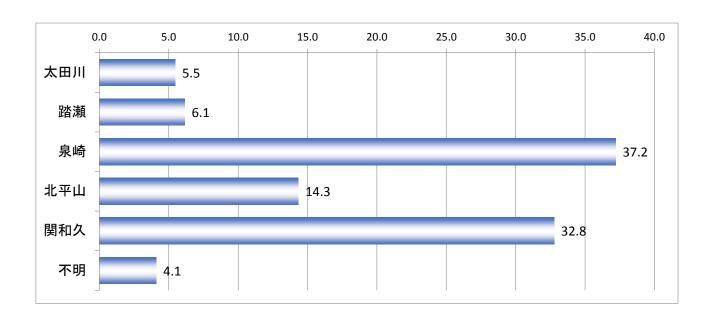
○ 「泉崎」が37.2%、「関和久」が32.8%で、この2つの地区で70.0%を占めています。

## <性別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

## <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られません。



			④ 居住地区							
		合計	太田川	踏瀬	泉崎	北平山	関和久	不明		
					 	   	 	] ]		
	 全体	293	16	18	109	42	I I 96	12		
	土件	100. 0			_	l .	_			
性別	男性	131	11							
		100.0	8.4	7.6	32.8	16.8	28. 2	6.1		
	女性	161	5	8	65	20	ı 59	4		
		100.0	3. 1	5.0	40. 4	12. 4	ı 36. 6	2.5		
年齢	18~24歳	52	4	7		•		r.		
		<u>100. 0</u>	7. 7	13. 5	38. 5	7. 7	28.8	3.8		
	25~29歳	27	2	J	12	L.	8			
		<u>100. 0</u>	7.4							
	30~34歳	45		3				2		
		100.0	2.2					4.4		
	35~39歳	58	l .	1	22	10	19	ı 1		
		<u>100. 0</u>	5.2	5. 2	37. 9	<u>1</u> 7. 2	32.8	1.7		
	40~44歳	64	5	0	24	9	24	2		
		100.0	7.8	0.0	<u>37.</u> 5	1 <u>4. 1</u>	37. 5	3. 1		
	45~49歳	46		2						
		100.0	2.2	4.3	37. 0	21. 7	26. 1	8.7		

## 泉崎村について(居住状況や定住意向等)

## 問1 居住状況

(SA)

### <総数>

- 〇 「泉崎村以外の出身で、現在は泉崎村に住んでいる」といういわゆる"I・Jターン"が45.1%と最も多く、次いで「生まれてからずっと泉崎村に住んでいる」が31.1%となっています。
- 〇 また、「泉崎村出身であるが、いったん村外に転出し、現在は泉崎村に住んでいる」といういわゆる"Uターン"が21.8%で、"I・Jターン"と合わせると66.9%を占めています。

### <性別>

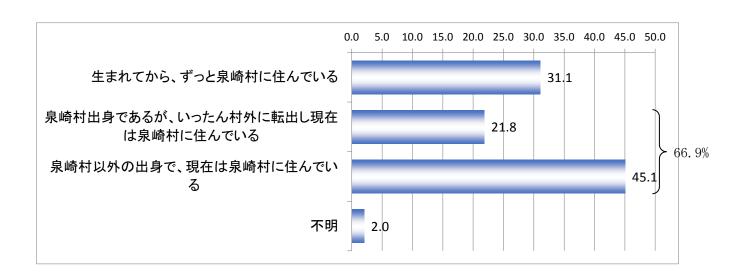
- 男性では「生まれてから、ずっと泉崎村に住んでいる」が39.7%で最も多いのに対し、 女性では「泉崎村以外の出身で、現在は泉崎村に住んでいる」が55.9%と最も多くなって います。
- 〇 「泉崎村出身であるが、いったん村外に転出し、現在は泉崎村に住んでいる」「泉崎村以外の出身で、現在は泉崎村に住んでいる」の合計を"U・I・Jターン"と捉えると、男性は 58.8%、女性は 73.3%となっています。

#### <年齢別>

O 30 歳未満では「生まれてから、ずっと泉崎村に住んでいる」が最も多いのに対し、30 代では「泉崎村以外の出身で、現在は泉崎村に住んでいる」が最も多くなっています。

## <地区別>

〇 踏瀬では「生まれてから、ずっと泉崎村に住んでいる」が最も多くなっていますが、それ 以外の地区では、"U・I・J"ターンが多くなっています。



			問1 居住			
		合計	から、 ずっと泉 崎村に住	1	は泉崎村 に住んで	
	全体	293		64		6
	1	100.0	31. 1	21.8	45. 1	2.0
性別	男性	131	52			_
		<u>100. 0</u>				1.5
	女性	161	39			4
		100.0		17. 4		2. 5
年齢	18~24歳	52	33	1	7	4
		100.0	<u>63.</u> 5	1 <u>5.</u> 4	1 <u>3</u> . <u>5</u>	77
	25~29歳	27	12	/	8	0
	00 04/5	100.0				<u>0. 0</u>
	30~34歳	45				1
		100.0				
	35~39歳	58	12		32	
		100.0	. – – – –			
	40~44歳	64	13	ľ		1
		100.0		<u>20.3</u>		1.6
	45~49歳	46		l.	27	0
	Lemin	100.0				0.0
居住地区	太田川	16		-	5	· ·
	n-k >+st	100.0				0_0
	踏瀬	18		16.7	-	0
	<u> </u>	100.0	66. 7	16. 7		<u>0. 0</u> 3
	プドル可	109		h .		_
	 北平山	$\frac{1}{1} - \frac{100}{42} \cdot \frac{0}{10}$	<u>27.</u> 5	J	44. 0	2 <u>.</u> 8
	ar <del>i,</del> m	42 100. 0		ļ		0
	  関和久	96				<u>0. 0</u> 2
	EJ/TH/A	100.0				2. 1
	I.	100.0	ე 1. პ	10.0	41.9	۷. 1

# 問1-1 転入してきた理由(泉崎村出身であるが、いったん村外に転出した方、泉崎村以外の出身の方限定)

(MA)

## <総数>

○ 「結婚のため」が31.1%と最も多く、次いで「進学・転勤・就業のため」が26.0%、「移住」が17.9%となっています。

### <性別>

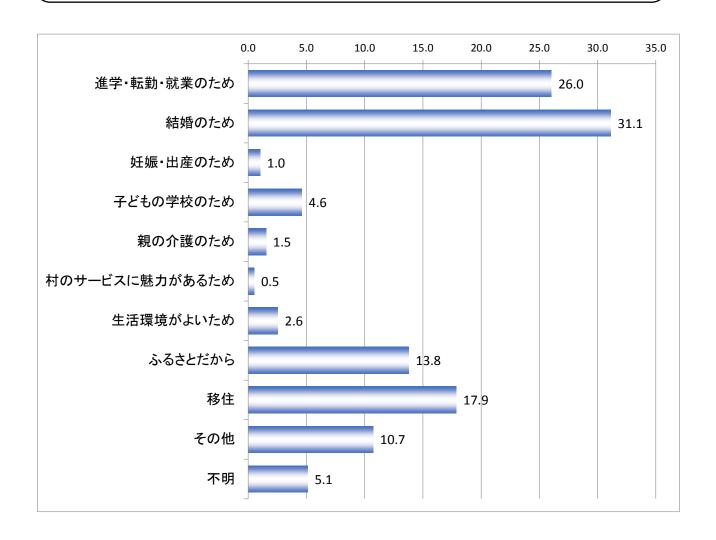
〇 男性では「進学・転勤・就業のため」が 41.6%と最も多く、女性では「結婚のため」が 46.6%と最も多くなっています。

### <年齢別>

○ 年齢別にみると、30歳未満では「進学・転勤・就業のため」、30~44歳では「結婚のため」が多く、45~49歳では「移住」が31.6%と、最も多くなっています。

## <地区別>

○ 太田川・踏瀬・泉崎では「進学・転勤・就業のため」が多く、北平山・関和久では「結婚のため」が多くなっています。



			問1-1 動	入してき	た理由					
			l⊬1 T 1±		CATH					
		合計	進学・転	結婚のた	妊娠・出	子どもの	親の介護	村のサーク	生活環境	ふるさと
			勤・就業	め	産のため	学校のた	のため	ビスに魅っ	がよいた 7	だから I
			のため			ן שׁ		力があるし	d .	i
								ため	i	I
	全体	196	51	61	2	9		1	51	27
		100.0	26.0	31. 1	1.0	4.6	1.5	0. 5	2. 6	13.8
性別	男性	77	32	6	0	ı 5	31	01	1	16 <b>ı</b>
		<u>100. 0</u>	41.6		0.0		3. 9	0.0	1.3	<u>20. 8</u>
	女性	118	18		2	1	·	1	4	11
		100.0	15. 3		1.7	3. 4	0.0	0.8	3. 41	9. 3
年齢	18~24歳	15	7	0	-	ı 0	· ·	0	1	3
		<u> </u>	<u>46.</u> 7	0.0	<u>6</u> . 7		<u>0. 0</u> 1	<u>0.0</u> 1	6. 7	2 <u>0</u> . <u>0</u>
	25~29歳	15	6	6	0		0	0	$1_{\mathbf{I}}$	31
	00 04 15	100.0	40.0		0.0			0.0	<u>6. 7</u>	20.0
	30~34歳	31	7			_	-	0	11	4
	05 0045	100.0	22.6				. – – – -	0.0	3.21 21	12.9
	35~39歳	46	10		_	-	0	11		81
	 40~44歳	-	21. 7 15		0.0		0. 0 <u>.</u>	2.21	4.3	1 <u>7</u> . 4
	40~446%	100.0				. ~		0.0	0 <sub>1</sub> 0, 0 <sub>1</sub>	8. 0
	45~49歳	38	50.0			,	<sup>2.0</sup>	<del>0. 0</del>	001_	- <u>- 8. 0</u> 5.
	10 13//X	100.0	13. 2			_	5.3	0. 0	0. 0 <sup>1</sup>	13. 2
居住地区	太田川	12	6	3			11	0.0	1	10. 2
	ХД/11	100.0	50. 0	25. 0	0. 0	_	8. 3	0. 0	8. 3.	8. 3 <b>I</b>
	踏瀬	<u> </u>	2	1				0	0	0
	7110	100.0	33. 3	-		0.0	0.0	0.0	0. 01	0.0
	泉崎	76	25	23			0	1	4	11
		_ <u> </u>	32.9	30. 3			0.0	1.3	5. 3	1 <u>4</u> . <u>5</u>
	北平山		7	11	0		01	0	0	31
		100.0	24. 1	37. 9	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	<u>10. 3</u>
	関和久	64	9	21	1	3		0	01	12
		100.0	14. 1	32.8	1.6	4.7	3. 1	0.0	0.01	18.8

			(続き)			
		0.71	21: IS			
		合計	移住	その他	不明	<b>非該当</b>
					ļ	
	全体	196	35	21	10	97
	土件	100.0	17. 9			31
性別	男性	77	22			54
12274	7 1 1 1	100.0	28.6		2 <u>.</u> 6_	
	女性	118	13	15		43
		100.0	11.0	12.7	6.81	
年齢	18~24歳	15	5	2		37
		1 <u>0</u> 0.0	33. 3	<u>13. 3</u>	0.0	
	25~29歳	15	1		0	12
		100.0	6. 7	6. 7	0.0	
	30~34歳	31	4	2	2	14
		100.0	12. 9			
	35~39歳	46	6	_	-1	12
		1 <u>00.</u> 0	13.0	. – – – .		
	40~44歳	50	7	7	Ŭ	14
	 45~49歳	<u>100.0</u>	14. 0	14.0		
	45~49成	38	12	15.0	-	8
居住地区	太田川	100.0	31. 6			4
冶住地区	ДШЛ	100.0	0. 0	_	-	4
	 踏瀬	100.0	2	0	11	12
	PENR	100. 0	33. 3	0.0	_	12
	泉崎	76	9			33
		100.0	11.8	-		
	北平山	29	6	2		13
		100.0	20.7	6.9	3.4	
	関和久	64	14	8	21	32
		100.0	21. 9	12.5	3. 1	

(SA)

## <総数>

- 「どちらかといえば住みやすい」が34.5%と最も多くなっています。
- 〇 「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた"住みやすい"は57.0%、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を合わせた"住みにくい"は15.0%となっており、"住みやすい"が"住みにくい"を大きく上回っています。

## <性別>

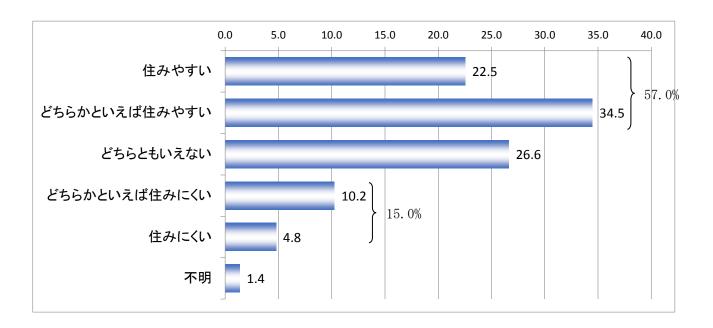
○ 総数と大きな違いは見られません。

## <年齢別>

〇 総数と大きな違いは見られませんが、年齢層が若いほど"住みやすい"評価が高い傾向があります。

## <地区別>

〇 "住みやすい"評価が最も高いのは太田川で 68.8%、一方で最も低いのは北平山の 42.9% となっています。



			問2 村の	住みやす	さ			
		合計		どちらか	どちらと	どちらか	住みにく	不明
			<i>۱</i> ۷	といえば	もいえな	といえば	い	İ
				住みやす		住みにく	I	
				<b>۱</b> ۷۱	•	<b>V</b> \		
	全体	293						
사사 미리	H M	100.0			26. 6			
性別	男性	131	29			14	6	
	 女性	100. 0 161	22. 1 37	35. 1 55			4. <u>6</u> 8	
	外社	100.0	23. 0					_
年齢	18~24歳	52						1. 4
	10 21///00	100.0			,	<b>-</b> .		1.9
	25~29歳	† - 100.0	11	5				
		100. 0		18. 5		11. 1		3.7
	30~34歳	45				7		
		100.0	8.9	22. 2	42. 2	15. 6	6.7	4. 4
	35~39歳	58	11	22	17			
		<u>100. 0</u>	<u>19.0</u>	<u>37.</u> 9	<u>29. 3</u>	5. 2	8.6	0.0
	40~44歳	64						0
		<u>100.</u> 0						0.0
	45~49歳	46		25		2	_	0
	1 111	100.0		54. 3 5	21. 7	4. 3	4. 3	
居住地区	太田川	16		5	2	_		_
	make Next	100.0		31. 3		,		0.0
	踏瀬	18		5		21	-	[ 0
	   泉崎	1 <u>0</u> 00	22. 2 27	27. 8 41			. – – –	
	水呵	109 100. 0				• .		
	1	42	5					
	11TH	100.0					_	_
	関和久	96						3
	INTER S	100.0						3. 1

(SA)

## <総数>

○ 「わからない・特にない」が31.7%と最も多く、次いで「公園や自然環境」が29.4%と なっています。

### <性別>

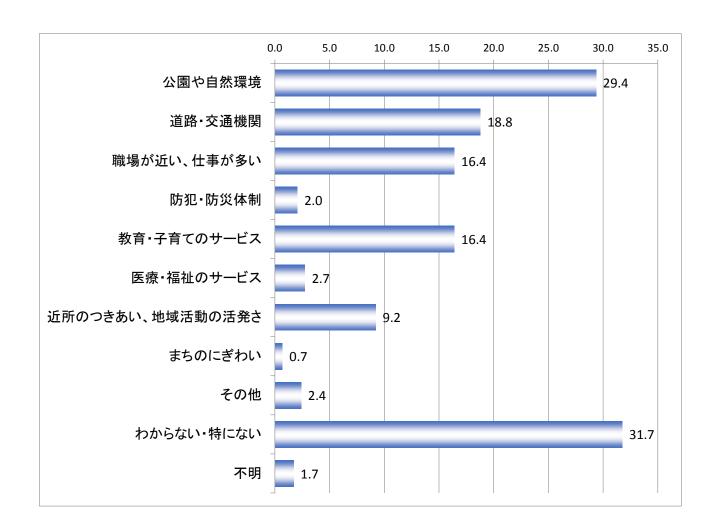
○ 男性では「わからない・特にない」、女性では「公園や自然環境」が最も多くなっています。

## <年齢別>

○ 18~24 歳と 45~49 歳では「公園や自然環境」が最も多く、40~44 歳では「教育・ 子育てのサービス」が最も多くなっています。

## <地区別>

○ 踏瀬と泉崎では「公園や自然環境」とともに、「道路・交通機関」「職場が近い、仕事が多い」という点も比較的評価されており、泉崎では「教育・子育てのサービス」も他の地区と比べ高くなっています。



			間3 村の	魅力						
		合計	公園や自 然環境	通機関	職場が近 い、仕事 が多い	防犯・防  災体制 		医療・福   祉のサー   ビス		ぎわい
				) 	14 <i>9</i> V	I			の活発さ	
	全体	293	86	55	48	6	48		27	2
		100.0	29.4	18.8	16. 4	2.0	16. 4	2. 7	9. 2 <sup>l</sup>	0.7
性別	男性	131	31	24	26	ı 3	13	ı 1ı	13	1
		<u> </u>	_ 23.7	18. 3	19.8	2 <u>.</u> _3	9.9	0.8	9.9	0.8
	女性	161	55	30	22	3	35	7	14	1
		100.0	34. 2	18.6	13.7	1. 9	21.7	4.3	8. 7	0.6
年齢	18~24歳	52	19	8		i 2	1	0	2	0
		<u>100. 0</u>	<u>36.</u> 5	15. 4	<u>7. 7</u>	ı3 <u>.</u> 8	1.9	0.01	3.8	<u>0. 0</u>
	25~29歳	27	7	9	4	ı 0	2		-	0
		100.0	25. 9	33. 3	14.8	0.0	7.4	0.0	14.8	0.0
	30~34歳	45	11	31		1	ı 4	0	41	-
		100.0	<u>24. 4</u>	6.7	22.2	<u>2. 2</u>	8.9	0.0	8.9	0.0
	35~39歳	58	15	9	9		16	1	1	0
		100.0	25.9	15. 5	<u> 15. 5</u>					0.0
	40~44歳	64	15	16					5	1
		100.0	23.4	25. <u>0</u> 1	21.9	0.0	26.6	3. 1	<u>7. 8</u> 1	1.6
	45~49歳	46	19	10		3	l 8	4	41	1
		100.0	41.3	21. 7	15. 2	6.5	17. 4	8. 7	8. 7	2. 2
居住地区	太田川	16	5	1	1		3	_	-	0
		<u>100. 0</u>	<u>31.</u> 3	6.3	<u>6.3</u>	0.0				<u>0.0</u>
	踏瀬	18	6	41	4	0				0
		100.0	33. 3	22. 2		0.0			11.1	0.0
	泉崎	109	31	30	27		22		5	1
		<u>1</u> 0 <u>0</u> . <u>0</u>	28.4	27. 5	<u>24. 8</u>		20. 2			<u>0</u> . <u>9</u>
	北平山	42	11	8	3	_	5	_	-	1
	ļ	<u>100. 0</u>	26. 2	19.0		2.4	11. 9			
	関和久	96	31	10		1			111	
		100.0	32.3	10.4	13. 5	1.0	15. 6	2. 1	11. 5	0.0

			(続き)		
		合計	その他	わからな	不明
				い・特に	
				ないない	
				/ 4 V	
	全体	293	7	93	5
	1	100.0	2.4	31. 7	
性別	男性	131	3	46	1 3
	<u> </u>	100.0	<u>2. 3</u>	35.1	
	女性	161	4	47	2
		100.0	2.5	29. 2	1.2
年齢	18~24歳	52	0	19	1
		<u>10</u> 0. 0	0.0	<u>36. 5</u>	
	25~29歳	27	0	10	
		<u>100. 0</u>	0.0	37.0	0.0
	30~34歳	45	1	18	1
		<u>100. 0</u>	2.2	40.0	2.2
	35~39歳	58	1	17	1
		100.0	1.7	29. 3	
	40~44歳	64	4	17	. –
		<u>100. 0</u>	<u>6. 3</u>	<u>26.</u> 6	3.1
	45~49歳	46	1	11	
		100.0	2.2	23. 9	0.0
居住地区	太田川	16	0	6	-
		<u>100. 0</u>	0.0	37. 5	0.0
	踏瀬	18	0	6	1
		100.0	0.0	33. 3	<u>5. 6</u>
	泉崎	109	3	28	
		1 <u>0</u> 00	2.8	<u>25. 7</u>	0.0
	北平山	42	3	14	
	L	<u>100</u> . <u>0</u>	7.1	33. 3	4.8
	関和久	96	1	33	
		100.0	1.0	34. 4	1.0

## <総数>

〇 「買物の利便が良い」が 57.0%と最も多く、次いで「居住環境がよい」が 52.2%、「交 通事情がよい」が 48.5%となっています。

## <性別>

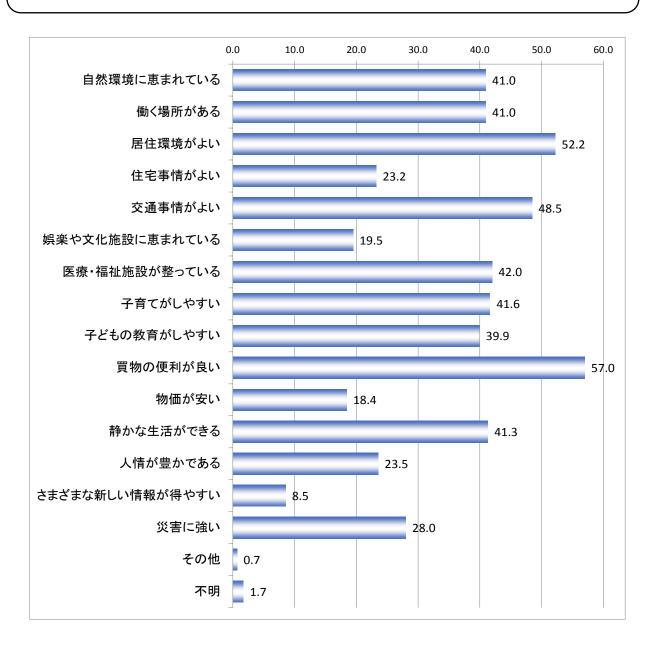
〇 男性では「居住環境がよい」、女性では「買物の便利が良い」がそれぞれ最も多くなっています。

## <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

## <地区別>

○ 太田川では「交通事情がよい」、踏瀬では「居住環境がよい」、泉崎・北平山・関和久の3 地区では「買物の利便が良い」が最も多くなっています。



			問4 住み	ょよさとは							
		合計	自然環境 に恵まれ ている		居住環境 がよい	住宅事情 がよい 	交通事情 がよい	娯楽や文 医 化施設に も 恵まれて 鏨	Ŀ施設が をってい	しやすいす	
					Í	l	i	いるる		i !	, , ,
	全体	293 100. 0	120 41. 0	120 41. 0	l		142 48. 5		123 42. 0		117 39. 9
性別	男性	131	57	51	67	28	59	28	49	40	44
	女性	1 <u>00.</u> 0	4 <u>3. 5</u> 63	<u>389</u> 69	86		<u>45.0</u>		3 <u>7.4</u> 74	82	3 <u>3.6</u> 73
		100.0	39. 1	42. 9			51.6		46.0		45. 3
年齢	18~24歳	52 100. 0	25 48. 1	16 30. 8	ļ		24 46. 2	t _	15 28. 8		14 26. 9
	25~29歳	27	8	8	18	6 22. 2	16	5	10 37. 0	11	8
	30~34歳	45		29. <u>6</u> 20	25	13	21	8	24	24	29. 6 25
		100.0	35. 6	44. 4			46. 7		53. 3		55. 6
	35~39歳	58 100. 0	21 36, 2	25 43. 1	P .	14 24. 1		11 19. 0	26 44. 8	•	29 50. 0
	40~44歳	64	26 40, 6	32 50. 0	36	13 20. 3	34		25 39. 1	28	22 34. 4
	45~49歳	46	24	19	26	13	20	81	22	16	19
居住地区	太田川	100.0	52. 2 6	41.3		28. 3			47. 8 7		41. 3
		100.0	37. 5	50.0		2 <u>5</u> . 0		· -	43. <u>8</u>	- I	43. 8
	踏瀬	18 100. 0	8	5 27 8	10	3 <u>16.</u> 7	9 50. 0	~	7	U	6
	 泉崎	100.0	_ <u>44. 4</u> 41	27 <u>.</u> 8 38	5 <u>5. 6</u> 56	25	49	23	38.9 42	47	33 <u>.</u> 30 40
	 北平山	1 <u>00.</u> 0	3 <u>7. 6</u> 21	34. <u>9</u> 25		2 <u>2</u> . <u>9</u> 14	45.0 22		38. <u>5</u> 20		3 <u>6.</u> 7
	13 1 14	100.0	50.0	59. <u>5</u>				16. 7	47. 6		42. 9
	関和久	96	41 42. 7	40 41. 7		ř.	47 49. 0	•	44 45. 8		43 44. 8

			(続き)							
		合計	買物の便	物価が安	静かな生	人情が豊	さまざま	災害に強	その他	不明
			利が良い	<b>V</b> \	活ができ る	かである   	な新しい 情報が得 やすい			! ! !
	全体	293	167	54	121	69	25	82	2	5
		100.0	57.0	18. 4	41.3	23.5	8. 5	28. 0	0.7	1.7
性別	男性	131	62	23	51	25	10	38	1	3
	1	<u>100.</u> 0	47. 3	17.6	<u>38.</u> 9	1 <u>9</u> . 1	7.6	29.0	0.8	2 <u>.</u> 3
	女性	161	104	31	70	44	15	44		_
		100.0	64.6	19. 3	43.5	27.3	9.3	27. 3	0.6	1.2
年齢	18~24歳	52	26	11	23	10	3			1
		<u>100. 0</u>	50.0	21. 2	44. 2	19.2	5.8	25.0	1.9	1.9
	25~29歳	27	17	5	11	6	_	7	0	-
		1 <u>0</u> 00	63.0	18.5		22. 2	7.4	25. 9	0.0	0.0
	30~34歳	45	28	9	20	P.	4	13		3
		100.0	62. 2	20.0	44.4		8.9	28. 9		6. 7
	35~39歳	58	37	10	24		7	18		•
		100.0	63.8	17. 2				31.0		
	40~44歳	64	35	12		13			0	_
		<u>100. 0</u>	54.7	18.8			9.4	29. 7	0.0	
	45~49歳	46	23	7	18		3			ı
		100.0	50.0	15. 2	39. 1	10.9	6.5			
居住地区	太田川	16	8	5	7	7	1	7	V	•
		<u>100. 0</u>	<u>50. 0</u>	<u>31. 3</u>	43.8	<u>43. 8</u>	6.3	43.8	0.0	
	踏瀬	18	9	4	5	3	0	5		
		<u>100. 0</u>	<u>5</u> 0. 0	22. 2	<u>27. 8</u>		0.0	<u>27. 8</u>		0.0
	泉崎	109	61	17	43	L	12	25		0
		<u>100. 0</u>	<u>56.</u> 0	15 <u>.</u> 6		<u>1</u> 8. 3		22.9		
	北平山	42	27	12		l		10		
		1 <u>0</u> 00	64. 3	<u>28.</u> 6		3 <u>1</u> . <u>0</u>	167	23.8	<u>0.0</u>	1
	関和久	96		15	44	r -	4	33		. ~
		100.0	60.4	15.6	45.8	26.0	4.2	34. 4	0.0	5. 2

(SA)

## <総数>

○ 「これからも泉崎村に住み続けたい」が 43.7%と最も多く、次いで「わからない」が 34.8% となっています。

## <性別>

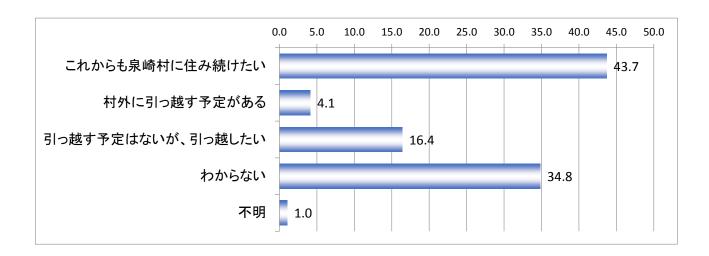
○ 総数と大きな違いは見られません。

## <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

## <地区別>

○ 太田川では「これからも泉崎村に住み続けたい」が 62.5%となっており、地域で比較した場合、定住意向のある住民の割合が最も多くなっています。



			間5 村で	での定住意	向		
		合計			引っ越す		不明
					予定はなり	V )	
			に住み続	予定があ			j
			けたい	る	引っ越し		ı
				 	たい		
	全体	293	128	12	48	102	3
	<del></del>	100.0					
性別	男性	131	63			42	
133/4	7 13	100.0					
	女性	161	64				
	7.12	100.0	39. 8				
年齢	18~24歳	52	13				2
	= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	100.0					3.8
	25~29歳	27	14			9	
		100.0	51. 9	3. 7	11. 1	33. 3	0.0
	30~34歳	45	14				
		<u>100. 0</u>	31.1	4.4	28. 9		0.0
	35~39歳	58	32			<sub>14</sub>	
		100.0	55. 2			24. 1	0.0
	40~44歳	64	31			19	
		100.0	48. 4	1.6	18.8		1.6
	45~49歳	46	23		61		
		100.0	50.0	0.0	13. 0	37. 0	0.0
居住地区	太田川	16	10	2	2	2	0
		100.0	62. 5	12.5	12.5	12. 5	0.0
	踏瀬	18	8	1	2	7	
		100.0	44.4	5.6		<u>38.</u> 9	0.0
	泉崎	109	43			38	2
	L	100.0				<u>34.</u> 9	1.8
	北平山	42	14	2		20	
		100.0	33.3	4.8	<u>14.</u> 3	<u>47. 6</u>	00
	関和久	96	48	1	16	30	1
		100.0	50.0	1.0	16. 7	31. 3	1.0

## 問5-1 転出する理由(引っ越す予定がある、引っ越したい方限定)

(MA)

## <総数>

○ 「生活をするのに不便(買物・交通等)だから」が最も多く、60.0%となっています。

### <性別>

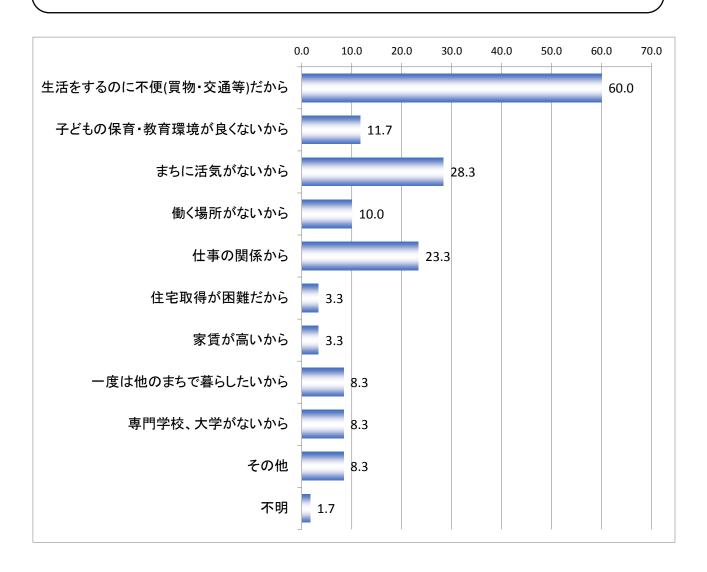
〇 男性では「まちに活気がないから」が 41.7%となっているのに対し、女性では 19.4%と なっており、意識の違いがみられます。

## <年齢別>

- 18~24歳では「仕事の関係から」が50.0%で最も多くなっていますが、その他の年齢 層ではいずれも「生活するのに不便(買物・交通等)だから」が最も多くなっています。
- 〇 なお、30 歳以上の年齢層では「まちに活気がないから」という回答が比較的多くなっていますが、それより若い年齢層では0.0%となっています。

#### <地区別>

〇 いずれの地区でも「生活をするのに不便(買物・交通等)だから」が最も多くなっていますが、関和久では82.4%と極端に多くなっています。



性別 男性 24 14 4 10 2 6 21 0 3 3 3 3 3 6 6 21 0 0 3 5 8 3 10 0 0 2 1 0 0 3 5 8 3 10 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 0 1 1 0 0 0 1 1 0 0 0 1 1 0 0 0 1 1 0				問5-1 転	出する理	由					
本のに不 保育・教 気がない がないか 保から が困難だいから できらした で 選集がからら から にいからら できらした で 選 環境が からら が			A =1	11 7 3 1.	<b>7 181 0</b>		(A) 11 = C	1/1	N	立任 バナ	phys a file
使(質			台計	生活をす							
大きの											
全体 60 36 7 17 17 6 14 2 2 5 5 100.0 60.0 11.7 28.3 10.0 23.3 3.3 3.3 8.3 8.3 100.0 23.3 3.3 3.3 8.3 8.3 100.0 23.3 3.3 3.3 8.3 8.3 100.0 23.3 3.3 3.3 8.3 8.3 100.0 23.3 3.3 8.3 8.3 100.0 23.3 3.3 8.3 8.3 100.0 23.3 3.3 8.3 8.3 100.0 2 6 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							1		1 N-10		
全体						<u>'</u>	!	,	!		V 77-1-5
性別 男性 24 14 4 10 2 6 21 0 3 3 3 3 3 6 6 21 0 0 3 5 8 3 10 0 0 2 1 0 0 3 5 8 3 10 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 0 1 1 0 0 0 1 1 0 0 0 1 1 0 0 0 1 1 0					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	] '	! !		! !		
性別 男性 24 14 4 10 2 6 21 0 3 3 3 3 3 6 6 21 0 0 3 5 8 3 10 0 0 2 1 0 0 3 5 8 3 10 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 1 1 0 0 0 1 1 0 0 0 1 1 0 0 0 1 1 0 0 0 1 1 0		全体	60	36	7	17	6	14	2	2	5
女性 36 22 3 7 7 4 8 3 25 0 8 3 0 0 1 12 5 2 2 2 3 7 7 4 8 8 3 25 0 8 3 0 0 1 12 5 2 2 2 1 1 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			100.0	60.0	11.7	28.3	10.0	23. 3			
女性     36 100.0 61.1 8.3 77 4 88 0 2 2 2 0.0 5.6 5.6       年齢     18~24歳 10 4 1 0 1 5 0 1 5 0 1 1 0 0 0.0 10.0 50.0 0.0 10.0 1	性別	男性			4			-	_	-	31
年齢 18~24歳 100.0 61.1 8.3 19.4 11.1 22.2 0.0 5.6 5.6 5.6							83				,
年齢 18~24歳 10 4 1 0 1 5 0 1 1 1 1 1 1 2 2 2 0 0 0 0 0 1 0 0 0 0		女性					4	ŗ	i "	_	
100.0   40.0   10.0   0.0   10.0   50.0   0.0   10.0	<b>左松</b>	10 - 04塔			8.3			22.2			
25~29歳	午断	18~24尿			10.0		_	50 O			
100.0   50.0   0.0   0.0   0.0   25.0   0.0   13.3   0.0   13.3   35~39歳   12		25~29歳	100.0	2.				30.0			
30~34歳   15		20 20///	100. 0	50. 0	, - 1	0. 0	$0.\check{0}$	25. 0			
35~39歳		30~34歳					+		1		
上       100.0       66.7       25.0       33.3       25.0       33.3       8.3       0.0       16.7         40~44歳       13       7       0       5       1       2       0			100.0	73. 3	20.0	40.0	0.0	13.3	6. 7	0.0	<u>13. 3</u>
40~44歳		35~39歳		_	3	_	_	_			_
上       100.0       53.8       0.0       38.5       7.7       15.4       0.0       0.0       0.0       0.0       0.0       0.0       0.0       0.0       0.0       0.0       0.0       0.0       0.0       0.0       0.0       0.0       0.0       0.0       10.0       0.0			- +	<u>6</u> 67	<u>25.</u> 0		<u>25.</u> 0	33. 3			
45~49歳   6   4   0   2   1   0   0   1   0     100.0   66.7   0.0   33.3   16.7   0.0   0.0   16.7   0.0     居住地区   太田川   4   2   0   0   0   2   0   0   0     100.0   50.0   0.0   0.0   50.0   0.0   0.0   0.0     政瀬   3   2   0   1   1   2   1   0   0     100.0   66.7   0.0   33.3   33.3   66.7   33.3   0.0   0.0     泉崎   26   14   2   8   1   4   0   2   4     100.0   53.8   7.7   30.8   3.8   15.4   0.0   7.7   15.4     北平山   8   3   1   3   2   2   0   0   0     関和久   17   14   3   4   2   2   1   0   1		40~44歳		7		·	1	2	·		0
居住地区 太田川 4 2 0 0 0 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				5 <u>3.</u> 8			+ 7· 7	15.4			1
居住地区 太田川 4 2 0 0 0 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		45~49麻	- C	66.7	V		1 16 7	0	, ,		
100.0   50.0   0.0   0.0   50.0   0.0	居住地区	大田川	100.0	2.	0.0			2.0			0.0
踏瀬 3 2 0 1 1 1 2 1 0 0 0 1 0 1 1 1 0 0 0 1 0 0 0 0	/H  L-#U C-	[XH/1]	100.0	50. 0	0. 0	v	_	50. 0	_		-
東崎     100.0     66,7     0.0     33.3     33.3     66,7     33.3     0.0     0.0       東崎     26     14     2     8     1     4     0     2     4       北平山     8     3     1     3     2     2     0     0     0     0       関和久     17     14     3     4     2     2     1     0     0     1		踏瀬	3	2			1	2			
上平山     100.0     53.8     7.7     30.8     3.8     15.4     0.0     7.7     15.4       北平山     8     3     1     3     2     2     0     0     0       100.0     37.5     12.5     37.5     25.0     25.0     0.0     0.0     0.0     0.0       関和久     17     14     3     4     2     2     1     0     1			100.0	66. 7	0.0	<u>33.</u> 3	33. 3	66.7	33. 3	0.0	0.0
北平山     8     3     1     3     2     2     0     0     0     0       100.0     37.5     12.5     37.5     25.0     25.0     25.0     0.0     0.0     0.0       関和久     17     14     3     4     2     2     1     0     1		泉崎			2		1	4		_	
100.0     37.5     12.5     37.5     25.0     25.0     0.0     0.0     0.0       関和久     17     14     3     4     2     2     1     0     1					7.7	30.8	3 <u>.</u> _8	<u>15. 4</u>			
関和久 17 14 3 4 2 2 1 1 0 1		北平山			1	3	2	2			
		見見 手口 力							0.0		
1 100.0 82.4 17.6 23.5 11.8 11.8 5.9 0.0 5.9		判1   人	100.0		17. 6	_	11.8	_	5. 9	_	_

			(続き)			
		合計	専門学 校、大学 がないか ら	その他	不明   	非該当
	全体	60 100. 0	5 8. 3	5 8. 3	-	233
性別	男性	24 100. 0	3 12. 5	1 4. 2	1	107
	女性	36 100. 0	2 5. 6	4	0.0	125
年齢	18~24歳	10	1	0	0	42
	25~29歳	100.0	1 <u>0. 0</u> 0	00	0	23
	 30~34歳	15 15	0.0	25. 0 1	0	30
	35~39歳	1 <u>00.</u> 0	0.0 2	6.7	0	46
	 40~44歳	100.0 13	16. 7 0	8.3	1	51
	45~49歳	100.0	0 <u>.</u> 0	15. 4 0	0	40
居住地区	太田川	100.0	33. 3	0.0	0	12
	踏瀬	100.0	0.0	25. 0 0	0	15
	泉崎	1 <u>00.0</u> 26	33. 3 2	0.0 1	1	83
	北平山	100.0	<u>7. 7</u> 1	3.8	0	34
	関和久	10 <u>0. 0</u> 17 100. 0	12.5 0 0.0	0.0 3 17.6	0	79

# 人口減少社会におけるまちづくりについて

# 問6 人口減少が与える影響や不安要因

(MA)

### <総数>

〇 「年金の減額、社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担増」が75.4% と最も多く、次いで「地域を支える担い手の不足や地域活力の低下」が53.2%、「国や地方が税収減となり、行政サービスが低下する」が46.8%となっています。

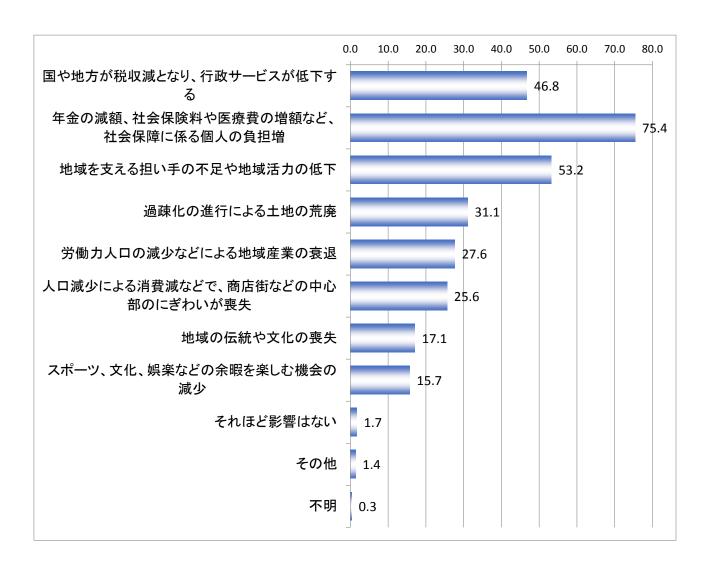
### <性別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

### <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

### <地区別>



			問6 人口	減少が与	える影響や	や不安要因				
		승타	となり、 行政サー	額、社会 保険料や 医療費の	える担い 手の不足 や地域活 力の低下	進行によ る土地の 荒廃	ŀ.	こよる消 Å 貴減など 0 で、商店	売や文化 D喪失	スポー
	全体	293 100. 0	137 46. 8	221 75. 4				75 25. 6	50 17. 1	46 15. 7
性別	男性	131 100. 0	68 51. 9			44	39	38 29. 0	22 <b>I</b>	23 17. 6
	女性	161 100. 0	69 42. 9		86 53. 4	47	421	37i 23. 0	27 16. 8	23ı 14. 3
年齢	18~24歳	52 100. 0	15 28. 8	28 53. 8	25		12	12 23. 1	13 <sub>1</sub> 25. 01	10 19. 2
	25~29歳	27 100. 0	14 51. 9	20 74. 1		8	7	9	4 14. 8	4 14. 8
	30~34歳	45 100. 0	21 46. 7	33 73. 3	27	12	13	12 26. 7	7 15. 6	4i 8. 9
	35~39歳	58 100. 0	28 48. 3	481 82. 8	30	17	17	15 25. 9	8i 13. 8	7 12. 1
	40~44歳	64 100. 0	35 54. 7	55 85. 9		19	18	15 23. 4	12 18. 8	11 17. 2
	45~49歳	46 100. 0	23 50. 0	36	27	18	14	11 23. 9	6 <sub>1</sub>	9 19. 6
居住地区	太田川	16 100. 0	5 31. 3			4	2	2 12. 5	2 12. 5	3 18. 8
	踏瀬	18 100. 0	8 44. 4	14 77. 8	7 38. 9	4	5 27. 8	3 16. 7	2 1 11. 1.	41
	泉崎	109	53 48. 6		62	42 38. 5	31	23 21. 1	211	22. <u>2</u> 20 18. 3
	北平山	42 100. 0	24 57. 1			10	13	18	6 14. 3	4, 9. 5i
	関和久	96	41 42. 7	74 77. 1	56 <sup>1</sup> 58. 3	28	26	26 27. 1	17 17. 7	12 12. 5

			(続き)	
		合計	それほど	その他不明
		台町	それほど 影響はな	その他 不明
			か合いる	
			ľ	ĺ
				ĺ
	全体	293	5	41 1
	I	100.0	1. 7	1.4 0.3
性別	男性	131	3	2 1
	/ bl	100.0	2. 3	1.5 0.8
	女性	161	2	2 0
年齢	18~24歳	100. 0 52	1.2	1.2 0.0
	10 24成	100.0	3.8	0.0
	25~29歳	27	1	0 0
	20 20 10 10	100.0	3. 7	0.0 0.0
	30~34歳	45	1	0 0
	l	<u>100.</u> 0	2.2	0.0 0.0
	35~39歳	58	0	2 0
		<u>100. 0</u>	00	3. 4 <u>0</u> . 0
	40~44歳	64	1	1 0
	45 4045	100.0	1.6	1.6 0.0
	45~49歳	46	0	
居住地区	太田川	100. 0 16	0.0	2. 2 2. 2 0 1
卢工地区	<u>М</u> ШЛІ	100.0	6. 3	0.0 6.3
	踏瀬	18	0. 3	0 0
	EHIM	100.0	0.0	0.0 0.0
	泉崎	109	2	1 0
	L	<u>100. 0</u>	1.8	0.9 0.0
	北平山	42	0	1 0
		<u>100. 0</u>	00	2 <u>.</u> 40. 0
	関和久	96	2	2 0
		100.0	2. 1	2. 1 0. 0

# <総数>

○ 「知らない」が83.6%と、大半を占めています。

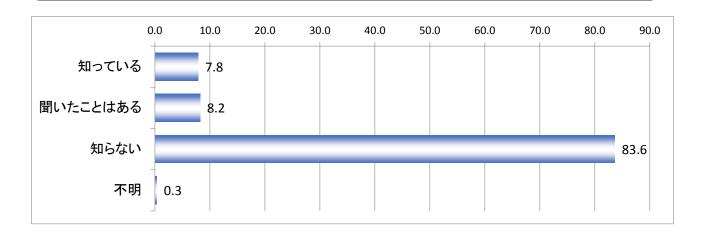
# <性別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

### <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

# <地区別>



		<u> </u>	DD 7 11.0		) ) , 4	> 37 45 dz
			間7 村の	)将米人口	についての	)認知度
		合計	生のでし	明いたと	知らない	不明
		「口」計	力っている	月いたことはある		个明
			3	1 C (12 M) S)		
	全体	293	23	24	245	1
		100.0	7.8	5.		0.3
性別	男性	131	15	13		1
		100.0	11.5	9.9		0.8
	女性	161	7	11		
		100.0	4.3	6.8	88.8	0.0
年齢	18~24歳	52	2	5	45	0
		<u>100. 0</u>	3.8	9.6	86. 5	0.0
	25~29歳	27	1	1	25	0
		100.0	3.7	3.7	92.6	<u>0. 0</u>
	30~34歳	45	2	3	40	0
		100.0	4.4	6.7	88.9	<u>0</u> . <u>0</u>
	35~39歳	58	5	2	51	0
		<u>100. 0</u>	8.6	3.4		00
	40~44歳	64	12	5		0
		100.0	18.8	7.8	73.4	0.0
	45~49歳	46	1		٠.	1
		100.0	2. 2	15. 2		2. 2
居住地区	太田川	16	3	1	11	1
		<u>100. 0</u>	<u>18.8</u>	6.3		6 <u>.</u> 3
	踏瀬	18	0	1		0
		100.0	0.0			<u>0. 0</u>
	泉崎	109	8			0
		<u>100. 0</u>	7.3			0.0
	北平山	42	5		L	0
	<u> </u>	100.0	11.9			<u>0. 0</u>
	関和久	96	6	_	~ _	0
		100.0	6.3	6.3	87. 5	0.0

### <総数>

○ 「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき」が 38.6%と最も多くなっています。なお、「人口減少は望ましくなく、現在より増加するよう努力すべき」と「人口減少は望ましくなく、現在程度の人口維持を目指すべき」を "人口減少否定派"、「人口減少はやむを得ないが、なるべく減少に歯止めをかけるべき」と「人口減少はやむを得ない」を "人口減少受け入れ派" とすると、43.3%:54.6%と "人口減少受け入れ派" がやや多くなっています。

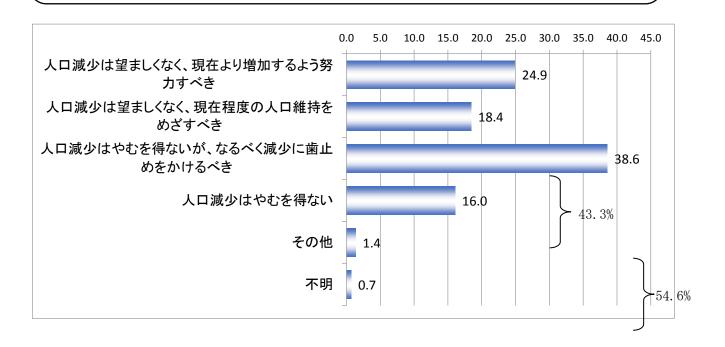
### <性別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

#### <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

### <地区別>



			問8 人口	減少問題	に対する者	<b>きえ</b>		
		合計	は望まし くなより 増加する	はく現の持ずまく程口めを	人は得がべにをべ 切むいな減止け がないながま	はやむを 得ない	その他           	不明
	全体	293 100. 0	73 24. 9				_	_
性別	男性	131 100. 0	41 31. 3	17	46	25	1	1
	女性	161 100. 0	31 19. 3	37	67		3	1
年齢	18~24歳	52 100. 0	15. 3 15 28. 8	6	23	7		0
	25~29歳	27 100. 0	5 18.5		11	5	0	
	30~34歳	45 100. 0	11 24. 4	9	18	7	i 0	
	35~39歳	58 100. 0	12 20. 7	8	24	12	2	0
	40~44歳	64 100. 0	16	13	22	12	0	1
	45~49歳	46 100.0	14		15	1 <u>8.8</u> 3 6.5	1	
居住地区	太田川	160.0		4	7	2	1	0
	踏瀬	18	6 33. 3	2	8		0	0
	泉崎	100.0 109 100.0	26 23. 9		39	21	1 2	,
	北平山	42 100. 0		8	17	7	0	0
	関和久	96	22 22 22. 9	19	40	12	Ī	2

### <総数>

○ 「子育て支援やワークライフバランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」が最も多く 64.8%、「産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組」が 50.9%となっています。

### <性別>

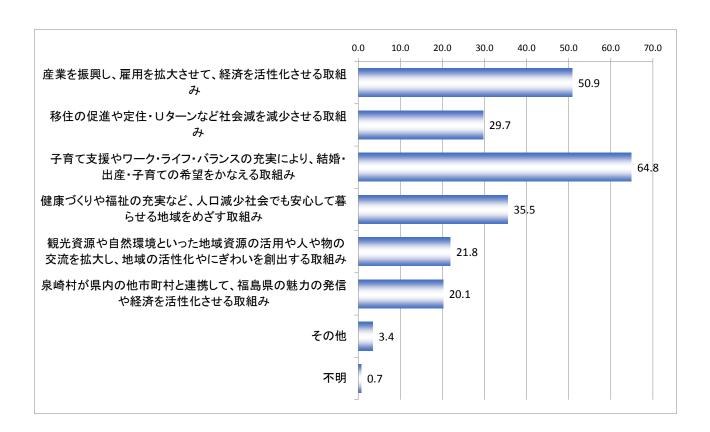
○ 男性では「産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組」が 58.0%と最も多く、女性では「子育て支援やワークライフバランスの充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」が 74.5%と最も多くなっています。

#### <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

# <地区別>

○ 太田川と踏瀬では「産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組」が最も 多いのに対し、それ以外の地区では(踏瀬も含む)「子育て支援やワークライフバランスの 充実により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」が最も多くなっています。



			問9 人	口減少を	克服するフ	こめに重視	しすべきこ	ح		
		숨計	産製用さ経済とは近てをされている。	移進住 タ ど を せ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	子援ク  ン実り婚してリラバのよ結出   支ーイラ充	健りのど減でしせを取ずる福実人社安暮地ざみく祉な口会心ら域す	観光自と地域形やの拡大 資然い域活や流大 でが大が、 での大変形がある。	と 泉県市連て県の経性る村の村し福魅信をさ組が他と 島力や活せみ	- · <del>-</del>	不明    -  -  -  -  -  -
	全体	293 100, 0		87	190		取組み 64	59 20. 1	10 3. 4	
性別	男性	131	76	34	70	37	27	27	8	0
	 女性		73	53	120	67	20. <u>6</u> 36 22. 4		2	0.0 2 1.2
年齢	18~24歳	52	22	ı 14	24	20	ı 9	10	1	1
	25~29歳	100 <u>.</u> 0 27 100. 0	15	8	20			19. 2 4 14. 8		0
	30~34歳	45 100.0	19	r .	35	10 22. 2		14.8 8 17.8		0.0 0 0.0
	35~39歳	58 100. 0			44	20		11	4	0.0
	40~44歳	64	43	20	42	22	14	15	2	1 1.6
	45~49歳	46 100. 0	25	ı 18	25	21	ı 13	11 23. 9	2 4. 3	0
居住地区	太田川	16 100. 0	9		6	7	2 12. 5	2	1	0.0
	踏瀬	18 100. 0	11		11	8	2 11. 1	3 16. 7	0	0.0
	泉崎	109 100.0	52	32	69	37	34	29 26. 6	6	
	北平山	42		14 33. 3	26	16	8 19.0	9	2	0 0.0
	関和久	96 100. 0	45	33	73	31	16	14	1	1

# 結婚について

# 問10 独身 · 既婚状况

(SA)

### <総数>

○ 「既婚(事実婚を含む)」が57.3%、独身が42.3%となっています。

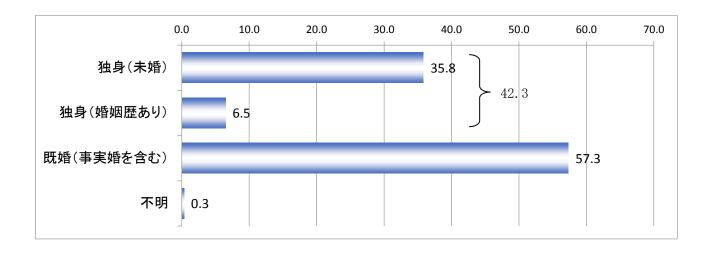
### <性別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

### <年齢別>

- 29歳以下では「独身(未婚)」が最も多く、30歳以上では「既婚(事実婚を含む)」が最も多くなっています。
- なお、40歳以上の独身率は14.5%(110人のうち、16人)となっています。

# <地区別>



			問10 独身	・既婚状	況	
		合計	独身 (未 婚)	姻歴あ	既婚(事 実婚を含 む)	不明
	全体	293				1
	T	100.0				0.3
性別	男性	131	55		70	0
		<u>100. 0</u>	42.0			<u> </u>
	女性	161	49			1
		100.0	30. 4			0.6
年齢	18~24歳	52	49		_	0
		<u>100. 0</u>	94.2	<u>3.8</u>		0 <u>.</u> 0
	25~29歳	27	17	1		0
	ļ	100.0	63.0			<u>0. 0</u>
	30~34歳	45	15			1
	<u>-</u>	1 <u>0</u> 0 <u>.</u> 0	33.3	. — — — —		<u>2. 2</u>
	35~39歳	58	8			0
		<u>100. 0</u>	<u>13.8</u>			0 <u>.</u> 0
	40~44歳	64	12	4		0
		<u>100. 0</u>	18.8			<u>0. 0</u>
	45~49歳	46	4	_	~ .	0
		100.0	8. 7	10.9	80. 4	0.0
居住地区	太田川	16	6	_	91	0
		<u>100. 0</u>	<u>37.</u> 5	6.3		0 <u>.</u> 0
	踏瀬	18	10	ſ	- I	0
		1 <u>0</u> 0 <u>.</u> 0	<u>55. 6</u>			<u>0. 0</u>
	泉崎	109	37	9		1
		<u>100. 0</u>	<u> </u>			0 <u>.</u> 9
	北平山	42	16	į.		0
		<u>100. 0</u>	38. 1	4.8		<u>0. 0</u>
	関和久	96	31			0
		100.0	32. 3	5. 2	62. 5	0.0

### <総数>

○ 「結婚したいと思える相手がいない」が 39.5%と最も多く、次いで「出会う機会、きっかけがない」が 30.6%となっています。

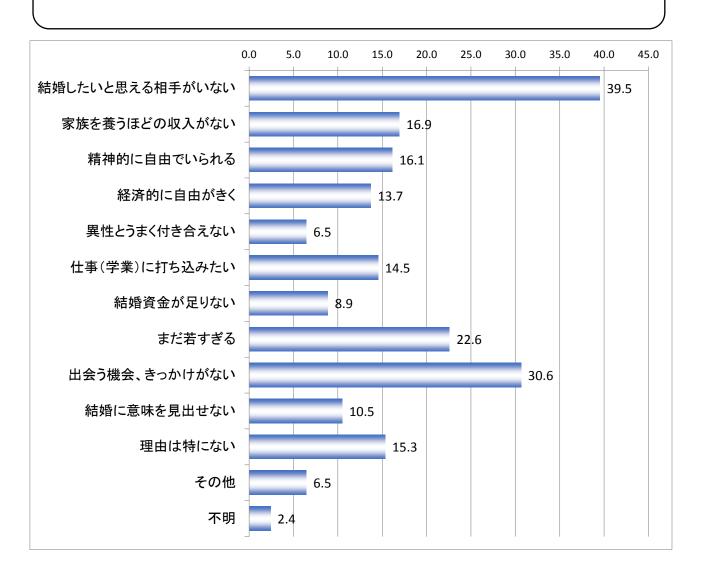
### <性別>

○ 男性では「出会う機会、きっかけがない」が32.8%で最も多くなっていますが、次いで、「家族を養うほどの収入がない」が26.2%となっています。

### <年齢別>

○ 24歳以下では「まだ若すぎる」という回答が54.9%と過半数を占めており、25歳以上では「結婚したいと思える相手がいない」が多くなっています。なお、40~44歳では「出会う機会、きっかけがない」が最も多くなっています。

### <地区別>



			問10-1	結婚してレ	いない理由					
		合計		家族を養 うほどの				仕事(学	結婚資金	まだ若す
				収入がな		  く	合えない	表)に打ち込みた	かたりない	    こる
			いない	ا	1	l I	]	ひゝ		
	全体	124					_	18		
		100.0	39. 5					14. 5	8.9	22.6
性別	男性	61	17	16	8	ı 6	4	ı 8	5	141
		<u>100. 0</u>	<u>27. 9</u>	26. 2	<u>13. 1</u>	9.8	6.6	13.1	<b>8.</b> 2	<u>23. 0</u>
	女性	62	31	ı 5 <sub>1</sub>	12	10	4	10	6	
		100.0	50.0			16. 1	6. 5	16. 1	9. 7	22.6
年齢	18~24歳	51	14		_	4	1	12	6	28
		<u>100. 0</u>	<u>27.</u> 5	19. 6	<u>7.8</u>	7 <u>.</u> 8	7.8	<u> </u>	<u>11.8</u>	<u>54</u> . 9
	25~29歳	18	9		6	ı 3	2	1 2	1	01
		100.0	50.0	0.0	33.3	<u>16. 7</u>	11.1	11.1	5.6	<u>0. 0</u>
	30~34歳	17	8	ı 5ı	5	4	ı 1	3	1	
		100.0	47. 1	<u>29. 4</u>	29.4	23. 5	5.9	17.6	5.9	0.0
	35~39歳	13	7	1	1	2	0	1	2	0
		100.0	53.8	7. 7	7. 7	15. 4	0.0	7. 7	15. 4	0.0
	40~44歳	16	5	4		I 3		ı 0	1	01
	1	1000	31.3	<u>25. 0</u>	<u>12.</u> 5	18.8	6.3	0.0	6.3	0.0
	45~49歳	9	6	1	2	1		0	0	0
		100.0	66.7	11. 1	22. 2	11. 1	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	太田川	7	0	1	1	ı 0	1	2	0	21
		100.0	0.0	14.3	14.3	0.0	14. 3	28.6	0.0	28.6
	踏瀬	11	3	1	1	0	1	2	2	3
		100.0	27. 3	9. 1	9. 1	0.0	9.1	18. 2	18. 2	<u>27.</u> 3
	泉崎	46	21	J 51	6	5	<b>I</b> 3	7	6	13
		<u>100. 0</u>	<u>45.</u> 7	10.9	<u>13. 0</u>	<u>1</u> 0.9	6.5	15. <u>2</u>	<u>13.</u> 0	28. <u>3</u>
	北平山	18	9	2	3	i 5	1	1	-	21
		<u>100.0</u>	50.0	11.1	16. 7	<u>2</u> 7. 8	5.6	5.6	5.6	<u>11. 1</u>
	関和久	36	14	9	7	7	2	5	2	7
		100.0	38. 9	25.0	19. 4	19. 4	<b>5</b> . 6	13. 9	5. 6	19.4

			(続き)					
		合計	出会う機 会、きっ かけがな い	味を見出	理由は特  にない 	その他         	i不明 I I I	非該当 I I
	全体	124 100. 0	38					
性別	男性	61	30. 6					70
	女性		32. 8 18 29. 0	8	9	3	2	
年齢	18~24歳	51	11	1	6	3	3	1
	25~29歳	- <u>100.</u> 0	2 <u>1. 6</u> 8	6	i 3	2	0	9
	30~34歳	100.0 17	44. 4	4	4	1	0	28
	35~39歳	$-\frac{100.0}{13}$	23 <u>.</u> 5		1	2	i 0	45
	40~44歳	1 <u>0</u> 0 <u>.</u> 0	38. <u>5</u> 6	1	<sub>5</sub>		I 0	48
	45~49歳	$-\frac{1}{9}$	37. 5 4	0	0	0	0	٠.
居住地区	太田川	100.0	44. 4	1	1	1	i 0	9
	踏瀬	100.0 11	28. <u>6</u> 1	1	2	0	1	7
	 泉崎	<u>100. 0</u>	9.1	7	6	3	1	63
	北平山	100. 0 18		1	3	2	i 0	24
	関和久	100.0 36 100.0	11	3	7	i 2	1	60

# <総数>

〇 「結婚の予定はないが、結婚したい」が55.6%と過半数を占めており、「今後、ずっと独身でいたい」は4.8%となっています。また、「わからない」という回答が25.8%となっています。

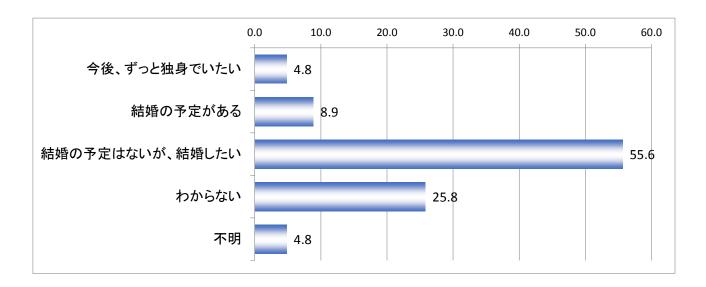
### <性別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

# <年齢別>

○ 25~29歳では「結婚の予定がある」が22.2%となっています。

### <地区別>



		1	<b>問10</b> —2	- 公仏の紅地	昏について			
			[H]IO 2	7 12 02 110 9	E(C )( C			
		合計	今後.	結婚の予	結婚の予	わからな	不明	非該当
			ずっと独	定がある	結婚の予 定はない	IV)	1 ' 24	
			身でいた		が、結婚			)
			V)		したい		i İ	}
	全体	124	6				6	169
		100.0	4.8				4.8	
性別	男性	61	1	5	36	15	4	70
		<u>100. 0</u>	1.6	8.2			6.6	l
	女性	62		6				99
		100.0	8.1	9.7				
年齢	18~24歳	51	0	3	Ŭ.			1
		<u> </u>		<u>5. 9</u>			<u>7.8</u>	
	25~29歳	18	_	4		-	1	9
		100.0	+					
	30~34歳	17	_	1		8		
	05 0045	100.0	+	5.9				
	35~39歳	13		2		-		45
	 40~44歳	100.0					7.7	
	40~44尿	16 100. 0		6.3	•	•	V	10
	45~49歳	9						
	45 49 所久	100.0	_	0.0			-	J
居住地区	太田川	700.0	00.0					
冶压地区	ХШЛ	_ <u>  100. 0</u>	0.0	0.0	1			}
		- † - 1 <u>00. 0</u> 11	0					7
		100.0	0.0	ſ		_	-	1
	泉崎	46		6				63
		100. 0		13.0		•	2. 2	}
	北平山	18						24
		100.0	0.0	,				}
	関和久	36	3	1				60
		100.0	8.3	2.8			5.6	

# <総数>

- 「村外」が65.5%で、「村内」の32.1%の2倍以上となっています。
- 〇 なお、「村外」では「福島県」が82.1%、次いで「宮城県」が4.2%となっています。また、「福島県」の中では「白河市」が34.6%、次いで「郡山市」が14.1%となっています。

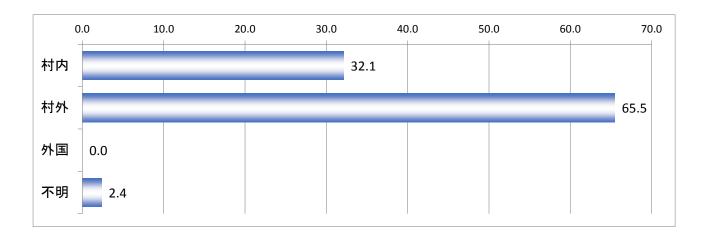
### <性別>

〇 男性では「村内」が 51.4%と過半数を占めていますが、女性では「村外」が 80.6%となっています。

### <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

### <地区別>



			問10-3 %	結婚する前	前の居住地		
		合計	村内	村外	外国	不明	非該当
				<b> </b> 		   	
	全体	168 100. 0	54 32. 1	110 65. 5	L I	2. 4	125
性別	男性	70 _ 100. 0	36 51. 4	31 44. 3	01	3 4. 3	61
	女性	98	18 18. 4		0	<del>1.</del> 31 11 1.01	63
年齢	18~24歳	100.0	100.0	0.0	0	0	51
	25~29歳	9	33. 3	6	0.0		18
	30~34歳	27 100. 0	9	18 66. 7	0	0.0	18
	35~39歳	45 100. 0	9	34 75. 6	01		13
	40~44歳	48	18 37. 5	29	0	1 2. 1	16
	45~49歳	37 100. 0	14 37. 8		0	2. 7	9
居住地区	太田川	9	22. 2	77.8	01	0.0	7
	踏瀬	100.0	1 14. 3	4	0		11
	泉崎	62 100. 0	22 35. 5	39 62. 9	0	1	47
	北平山	24 100. 0	5 20. 8	18 75. 0	01		18
	関和久	60	23 38. 3	37	0	01	36

# 問10-3-1 結婚後、泉崎村に転入してきた理由(結婚する前に村外に 住んでいた方限定)

(SA)

# <総数>

〇 「配偶者が泉崎村に住んでいたから」が 53.6%と最も多くなっています。次いで「その他」が 24.5%となっていますが、具体的には「実家だから」という理由が多くなっています。

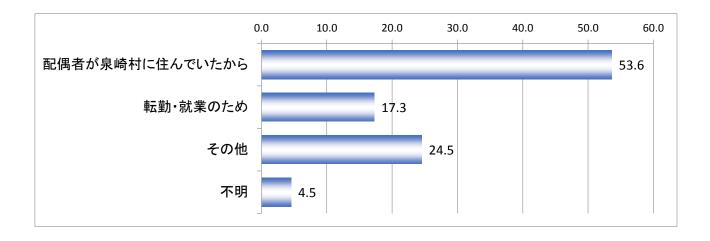
### <性別>

〇 男性では「転勤・就業のため」が 41.9%で最も多く、女性では「配偶者が泉崎村に住んでいたから」が 68.4%と最も多くなっています。

### <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られませせん。

### <地区別>



			問10-3-	-1 結婚後:	泉崎村に引	別っ越して	きた理由
		合計		転勤・就 業のため		不明    -  -  -	非該当
	全体	110 100. 0		19 17. 3			200
性別	男性	31 100. 0	53. 6 5 16. 1	17. 3 13 41. 9	12	1	100
	女性	79 100. 0	54 68. 4		15	4	
年齢	18~24歳	0 0.0	0.0		0	0	52
	25~29歳 	6 100. 0	5 83. 3	1	0 0. 0	0 0.0	21
	30~34歳 	18 100. 0		31 16. 7		1	
	35~39歳 	34 100. <u>0</u>	20 58.8	5 14. 7	<u>20. 6</u>	5 <u>.</u> 9	
	40~44歳	29 1 <u>0</u> 0. 0			44.8	<u>0</u> . <u>0</u>	
	45~49歳	22 100. 0		l .	_	9. 1 <sup>1</sup>	
居住地区	太田川	100. 0	2 28. 6	1 14. 3	4 <u>57. 1</u>	· ·	
	踏瀬	100.0			<u>25.</u> 0		
	泉崎	39 100. <u>0</u>	23 59.0	7 17.9	1 <u>7</u> . 9	51	
	北平山 	18 100. 0	7 38. 9	5 27.8		<u>5. 6</u>	
	関和久	37 100. 0	22 59. 5		_	21 1 5. 41	

### <総数>

〇 「安定した雇用の支援」が 51.9%で最も多く、次いで「若い夫婦への住まいの支援」が 42.7%、「結婚祝い金などの経済的支援」が 26.3%となっています。結婚の実現には、経済面の安定に向けた支援が求められている状況が伺えます。

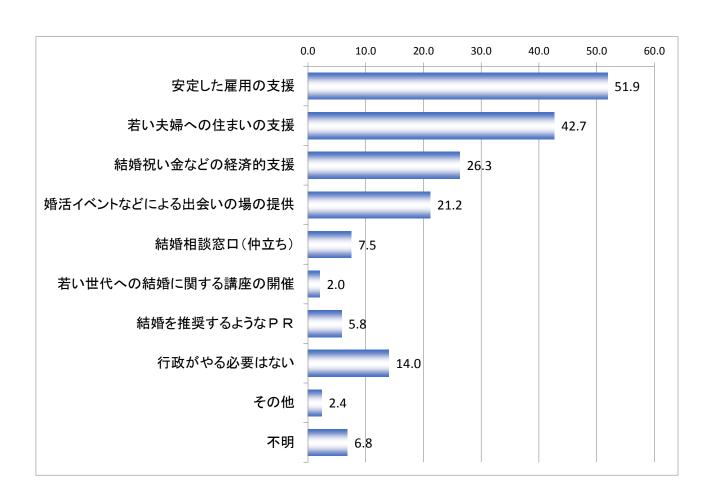
#### <性別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

### <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

### <地区別>



			問11 重点	原的に取り	組むべき	結婚支援策	Ę			
		合計	安定した 雇用の支 援	いの支援	金などの 経済的支	ントなど による出	窓口 (仲 立ち)	若い世代 への結婚 に関する	奨するよ うなPR	る必要は
					ı援 I I	会いの場 の提供	]    -	講座の開 催	] ]	
	全体	293 100. 0		125 42. 7						41 14. 0
性別	男性	131 100. 0	66	50 38, 2	31	32	14	41	12	20
	女性	161 100. 0	85	75 46. 6	45	30	ı 8	2	9. 21 51 3. 1	21 13. 0
年齢	18~24歳	52 100. 0	23 44. 2	21 40. 4		9		1	3	6 <sub>1</sub>
	25~29歳	27	14	11 40. 7	11	3	3	0	1	3
	30~34歳	45 100. 0	20	22 48. 9	13	8	1	1	01	9
	35~39歳	58 100. 0		22 37. 9	12	14		1	4	11 19. 0
	40~44歳	64 100. 0	40	29 45. 3	12	14	4	1 1. 6	6 <sub>1</sub> 9. 4	8 12. 5
	45~49歳	46 100. 0	29	20 43. 5	12	14		2	31	3 6. 5
居住地区	太田川	16 100. 0		5 31.3	3	3	2	i ():	1	12. 5
	踏瀬	18 100. 0	11	11 61. 1	7	3	2	1 5. 6	2ı 11. 1	1 5. 6
	泉崎	109		48 44. 0	25	24	9 8.3	4	8	17 15. 6
	北平山	42	22	16 38. 1	11	12	1	0	2	6 14. 3
	関和久	96 100. 0	45	42 43. 8	30	19	7	1	41	12 12. 5

			(続き)	
		合計	その他	不明
	全体	293	7	20
		100.0	2.4	6.8
性別	男性	131	3	7
		100.0	2.3	5. 3
	女性	161	4	13
		100.0	2.5	8. 1
年齢	18~24歳	52	1	9
		100.0	1.9	17. 3
	25~29歳	27	0	3
		<u>100.0</u>	00	11.1
	30~34歳	45	0	2
		100.0	0.0	4. 4
	35~39歳	58	3	4
		100.0	5. 2	6.9
	40~44歳	64	3	0
		100.0	4.7	0.0
	45~49歳	46	0	2
		100.0	0.0	4. 3
居住地区	太田川	16	2	2
		<u>100.0</u>	12.5	12. 5
	踏瀬	T 18	0	2
		100.0	0.0	11.1
	泉崎	109	3	7
		<u>100.</u> 0	2.8	6.4
	北平山	42	0	2
		100.0	0.0	4.8
	関和久	96	2	4.8 7
		100.0	2.1	7. 3

# 出産・育児について

# 問12 現在の子どもの数

(SA)

### <総数>

- 「○人」が39.6%で最も多く、次いで「2人」が31.4%となっています。
- なお、不明を除く回答者の現在の平均子ども数は「1.25人」となっています。

# <性別>

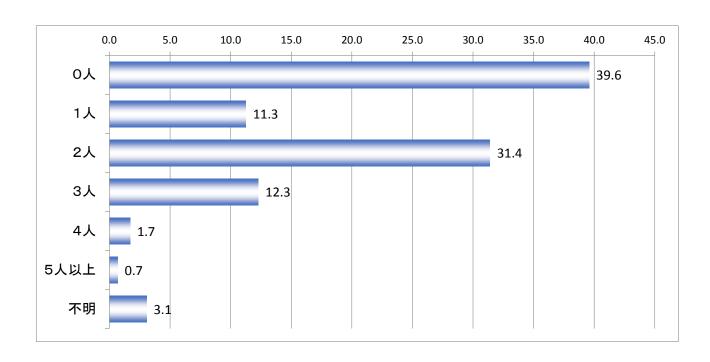
○ 総数と大きな違いは見られません。

### <年齢別>

○ 29 歳未満では「O人」が最も多く、特に 18~24 歳では 90.4%となっています。30 歳以上では、「2人」が最も多く、それぞれの年齢層で3割~5割弱程度を占めています。

### <地区別>

○ 踏瀬では「○人」が61.1%と他の地区に比べて多くなっています。



			問12 現在	の子ども	の数				
		合計	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	不明
						] 	-   	I I	] 
						l			l
	全体	293		33		36		•	
Lat. Ed. (	T m to	100.0	39.6	11. 3	31.4	12. 3			
性別	男性	131	59	12	37				-
	1 11	100.0	45.0	9. 2	28. 2				
	女性	161	56	21		ı	2		
<i>₽</i> → 1₽Λ	10 014	100.0	34.8	13. 0		13. 7	_		
年齢	18~24歳	52	47	3		0	~	•	
	 25~29歳	100.0	90.4	5.8					
	25~29歳	27	17	3	5	0			_
	 30~34歳	100. 0 45	63. 0 16	11. 1 2	18. 5 21	<u>0.0</u> 4		0.0	
	30/~34成	100.0		4.4	46. 7	_	_	Ŭ	
	35~39歳	- 1 <u>00.0</u> 58		6	26				. – – –
	33 - 33 // (3)	100.0	25. 9	10. 3	44. 8				
	40~44歳	64	15	10. 3					
	10 11///3%	100.0	23. 4	15. 6			_		~
	45~49歳	46		8		8		0.1	
	10 10///	100.0	13. 0	17. 4 <sup>1</sup>		17. 4			
居住地区	太田川	16		4	5	1	0		
		100.0	31.3	<u>25.</u> 0	31.3	6 <u>.</u> 3	0.0	0.0	6 <u>.</u> 3
	踏瀬	18	11	0	5	1		0	
		1000	61.1	0.01	<u>27.</u> 8	<u>5. 6</u>	5.6	0.0	0.0
	泉崎	109	43	10					
		100.0	39. 4	9. 2	<u>30. 3</u>	<u> </u>	1.8	0.0	4.6
	北平山	42	18	6	14		0		~
		100.0	42.9	14. 3	33.3			0.0	
	関和久	96	35	101	34	13		2	1
		100.0	36. 5	10.4	35. 4	13. 5	1.0	2.1	1.0

# <総数>

- 「2人」が50.9%と過半数を占め、「0人」は9.6%となっています。
- なお、不明を除く回答者の将来の平均子ども数は「2.07人」となっています。

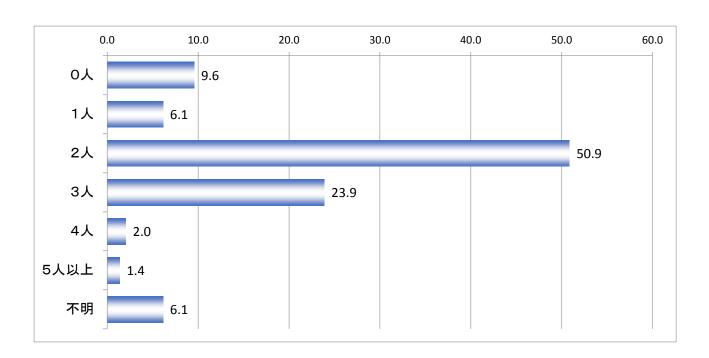
### <性別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

### <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

# <地区別>



			問13 将来	その子ども	の予定数				
		合計	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	不明
						, ,	] 	[	 
	全体	293 100. 0	28 9. 6	18 6. 1		70 23. 9	-		
性別	男性	131 100. 0	11 8. 4	11 8. 4	62 47. 3	27	4	4	12
	女性	161 100. 0	17 10. 6	7	86	43 26. 7	2	0	6
年齢	18~24歳	52 100. 0	5. 8	3.8	29	14	0	1	3
	25~29歳	27 100. 0	3 <sup>1</sup> 11. 1	0.0	16	6 22. 2	0	0	2
	30~34歳	45 100. 0	4 8. 9	2 4. 4	22	13	1	0	3
	35~39歳	58 100. 0	5 <sub>1</sub>	3 5. 2		11	0	2	2
	40~44歳	64 100. 0	7 10. 9	4 6. 3	27	18 28. 1	4	1	<b>-</b> 3
	45~49歳	46 100. 0	6 13. 0	7 15. 2	20	7 15. 2	<u> </u>	0	5
居住地区	太田川	16 100. 0	12. 5	0.0	6	6	1	I 0	i 1
	踏瀬	18 1000	1 5.6	1 5. 6	9	4 22. 2	1	1 1 5.6	1
	泉崎	109 100. 0	15 13.8	4 3.7		27	1	0	4
	北平山	42	7. 1	5 <del>5</del> 1 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	23	l 8	0	1	2
	関和久	96 100. 0		6	49	23	2	2	. – – – –

# <総数>

- 「3人」が45.4%と最も多く、次いで「2人」が39.6%となっています。
- なお、不明を除く回答者の理想とする平均子ども数は「2.55 人」となっており、現在の子どもの数「1.21」と比較すると2倍以上になっています。

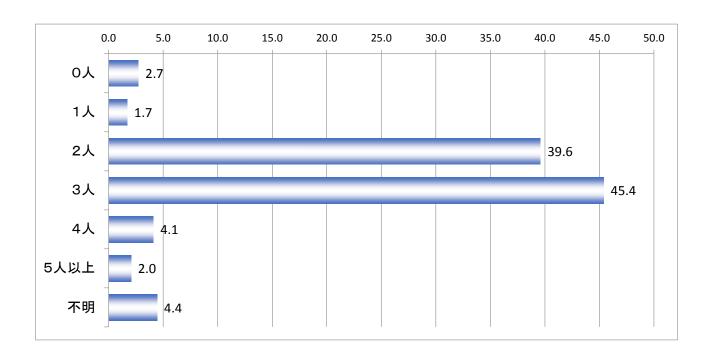
### <性別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

### <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

# <地区別>



			問14 理想	とする子	どもの数				
		合計	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	不明
						; 1 1	] 	[ [	I I
	全体	293 100. 0	8 2. 7	5 1. 7	116 39. 6		-	•	
性別	男性	131 100. 0	3. 1	2 1. 5	52 39. 7	53	5	6	9
	女性	161 100. 0	4 2. 5	3 <sub>1</sub>	63 39. 1		7		4
年齢	18~24歳	52 100. 0	0. 0	0.0	25 48. 1	22 42. 3	0	2	3
	25~29歳	27 100. 0	1   3. 7	1 3. 7	14 51. 9	9	0	0	2
	30~34歳	45 100. 0	3 6. 7	1 2. 2	12 26. 7	22	3		4
	35~39歳	58	3. 4	3 5. 2	24 41. 4	26	1	1	1
	40~44歳	64	2 3. 1	0.01	23	29	7	2	
	45~49歳	46	0. 0	0.0	18 39. 1	24 52. 2	1	1	2
居住地区	太田川	16 100.0	0.0	0. 0 0. 0	8 50.0		1	0	i 1
	踏瀬	18 100.0	1 5.6	0.0	9	6 33. 3	1	1 1 5.6	0
	泉崎	109 100. 0	3 <sub>1</sub> 2.8	1 0.9	43 39. 4	54	4	0	4
	北平山	42	2 4. 8	<del>0. 9</del> 1 1 1 <sub>1</sub> 2. 41	13 31. 0	21	1	i 3	<u> </u>
	関和久	96 100. 0	2 2. 1	2. 4 2. 1		42 43. 8	3		5. 2

### <総数>

〇 「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が 68.3%と最も多く、次いで「自分の仕事に差し支える」が 25.3%、「育児・出産の心理的・肉体的な負担」が 24.2%となっています。

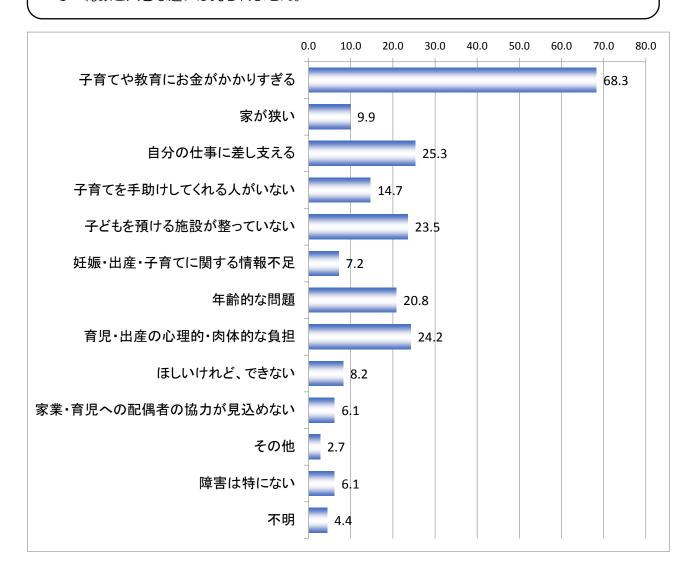
### <性別>

〇 「自分の仕事に差し支える」の割合は、男性の 13.7%に対し、女性では 34.8%となって います。

### <年齢別>

○ すべての年齢層で「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最も多くなっていますが、30 ~34 歳では「子どもを預ける施設が整っていない」、40 歳以上になると「年齢的な問題」 の割合が、他の年齢層と比べて多くなっています。

#### <地区別>



			問15 理想	きとする子。	どもの数詞	実現のため	の障害要	因		
		合計	子育てや	家が狭い	自分の仕	子育てを	子どもを	妊娠・出	年齢的な	育児・出
		ПВ	教育にお		事に差し			産・子育		産の心理
			金がかか	, 	支える	てくれる	設が整っ	てに関す		的・肉体
			りすぎる	ı ı		人がいな	ていない	る情報不	ı	的な負担
				) ! } !		い		足	1	į
	全体	293	200	29	74	43	69	21	61	71
		100.0	68. 3	9. 9	25.3		23. 5		20.8	24. 2
性別	男性	131	90	17	18	19			22	27
		1 <u>0</u> 00	68. 7	13. <u>0</u> 1	13.7	1 <u>4.</u> 5	22.1	6. 1	<u>16. 8</u>	<u>20.</u> 6
	女性	161	109	12	56				39	44
	11.	100.0	67. 7	7.5	34.8				24. 2	27. 3
年齢	18~24歳	52	38	6	8	_	10	-	-	91
		<u>100. 0</u>	<u>7</u> 31	11 <u>.</u> 5 <sub>1</sub>	1 <u>5.4</u>				1.9	1 <u>7.3</u>
	25~29歳	27	21	11	9	4		·	41	7
	20 2445	100.0	77. 8	3.7	33. 3	14.8		18. 5	14.8	<u>25. 9</u>
	30~34歳	45	35	51	11	5			3	12
	 35~39歳	_ <u>100. 0</u> 58	77. <u>8</u> 37	11.1	2 <u>4.4</u> 16		35. <u>6</u>		6 <u>.</u> 7	2 <u>6</u> . <u>7</u> 1
	35~~39成	100.0	63.8	6. 9 <sub>1</sub>	27. 6			-	17 29. 3	31.0
	40~44歳	64		1 <u>6.91</u> 1 81	<u>21. 0</u> 22	19.0			29. 3 21	<u>31. 0</u> 17
	40 44 成	1 <u>0</u> 0.0		12. 5	34.4	I			32. 8	<u>26.</u> 6
	45~49歳	- 1 <u>00.</u> 0		<u>12. 5</u> .	<u>54. 4</u> 8	. – – – –	10		;	<u>20.0</u> 1
	10 10/10	100.0		10. 9	17. 4		21. 7			17. 4
居住地区	太田川	16		1	1	1	1			31
		100.0	25. 0	6. 31	6.3	6.3	6.3	12. 5	18. 8	18.8
	踏瀬	18		1	2	1		1	3	3
		100.0	72. 2	5. 6	11.1	5.6	22. 2	5. 6	16. 7	16.7
	泉崎	109	73	8	31	ı 18	17	12	23	281
		<u>100. 0</u>	<u>67.</u> 0	7.3	28.4	<u>16.</u> 5		11.0	21. 1	25. 7
	北平山	42	33	51	10	5	-	2	7	10
		<u>100.</u> 0		11.9	<u>23.8</u>			4.8	<u>16. 7</u>	<u>23.</u> 8
	関和久	96		12	26				24	24
		100.0	70.8	12. 5	27. 1	17.7	33. 3	2. 1	25. 0	25.0

			(続き)				
		合計	ほしいけ	家業・育	その他	障害は特不	明
			れど、で	児への配		にない	
			きない	偶者の協		!	
				力が見込		1 :	
				めない	1		
	全体	293	24	18	l 8	18	13
	土件	100. 0		6. 1	_		4. 4
性別	男性	131		4			7. 1
177777	77 11	100.0	l	3. 1	_	8.4	5.3
	女性	161				ı <u>∪. 1</u>	- <u>- 0. 0</u>
		100.0	l	8. 7		1	3. 7
年齢	18~24歳	52				·	3
		100.0	0.0	1.9	1.9	1.9.	5.8
	25~29歳	27	5	3	1	1,	2
		100.0	18. 5	11. 1	3. 7	3. 7	7.4
	30~34歳	45	3	1	0	51	2
	1	<u>100.</u> 0	6.7	2.2	0.0	1 <u>1</u> . <u>1</u>	4.4
	35~39歳	58	6	3	2		0
		<u>100. 0</u>	<u>10. 3</u>	5.2	<u>3.4</u>	6.9	0.0
	40~44歳	64	4	7	2	3	2
		<u>10</u> 0. 0	6.3	10.9	3.1	<u>4. 7</u> 1	3. 1
	45~49歳	46	6	3	_	4	4
		100.0					8. 7
居住地区	太田川	16		0	0	[ "	1
	n later	<u>100. 0</u>					<u>6. 3</u>
	踏瀬	18	I -	ſ	_	21	0
		1000					0.0
	泉崎	109		8			6
		<u>100. 0</u>		7.3			<u>5. 5</u>
	北平山	42	2	0		31	1
		100.0				<u> </u>	<u>2.4</u>
	関和久	96			_	51 5 21	4
		100.0	9.4	10.4	2. 1	5. 2 <b>l</b>	4.2

### <総数>

○ 次の5つが特に多くなっています。

1:各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付
 2:子どもを預かるサービスの時間の延長
 3:幼稚園・保育所・認定こども園などの施設の拡充
 40.6%
 4:子育てに係る母子の保健・医療体制の充実
 5:子どもを預かる施設の教育・保育の質の向上
 34.1%

### <性別>

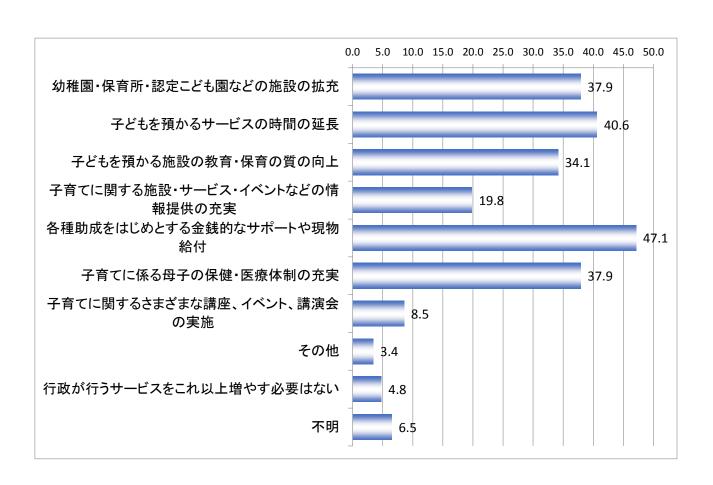
○ 総数と大きな違いは見られません。

### <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見みられません。

### <地区別>

〇 北平山では「幼稚園・保育所・認定こども園などの施設の拡充」が 52.4%と過半数を占めています。



			問16 出産	€・育児に	関して村内	が力を入れ	るべきこ	٤		
		合計	認定こど	預かる サービス の時間の 延長	預かる施 設の教 育・保育 の質の向 上	l設・サー	をはじる まいる まいる まいる まいる まいる まいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる は	係る母子 の保健・ 医療体制 の充実	まざまな	ı
	全体	293	111	119						10
性別	男性	100. 0 131	37. 9 44	40.6	42	22	58	42	9	_
	女性	1 <u>00.</u> 0 161 100. 0	33. <u>6</u> 66 41. 0	427 62 38. 5	58	36				
年齢	18~24歳	52 100. 0	16 30. 8	20	23	11	18	21	5	1
	25~29歳	27 100. 0	13 48. 1	38. <u>5</u> 13 48.1	7	8	18	11	6	1
	30~34歳	45 100. 0	22 48. 9	21 46. 7	19 42. 2	10		22	5	0, 0I
	35~39歳	58 100. 0	20 34. 5	25 43. 1	13	8	28	21	2	4
	40~44歳	64 100. 0	19 29. 7	22 34. 4		11	31	19	3	
	45~49歳	46 100. 0	21 45. 7	18 39. 1	16	10	15	17	4	2. 2
居住地区	太田川	16 100. 0	25. 0	5 31. 3	7	2 12. <u>5</u>	6	6	3	1
	踏瀬	18 100.0	9 50. 0	8	8	i 5		. 8 <sub>1</sub>		0
	泉崎	100.0	29 26. 6	39 35. 8		25	49	47	12	0. 0 4 3. 7
	北平山	42 100. 0	20. 6 22 52. 4	18 42. 9	15	$\frac{1}{4}$	21	14	4	0
	関和久	96 100.0	43 44. 8	45 46. 9	34	20	47	351	5	5. 2

			((1: ) )	
			(続き)	
		∆ ∌I.	ケボルジケース	- HH
		合計	行政が行る	\ <sub>D</sub>
			うサービ	
			スをこれ	
			以上増や	
			す必要は	
			ない	
			l )	
	全体	293	14	19
Let me t	I m to	100.0	4.8	6. 5
性別	男性	131	8	10
	<u></u>	1 <u>0</u> 00	6.1	7.6
	女性	161	6	9
		100.0	3. 7	5.6
年齢	18~24歳	52	2	3
		1 <u>0</u> 0.0	3.8	5.8
	25~29歳	27	1)	1
		100.0	3. 7	3.7
	30~34歳	45	11	4
		<u>100. 0</u>	2.2	8.9
	35~39歳	58	4	2
		100.0	6.9	3.4
	40~44歳	64	3	3
		<u>100. 0</u>	4.7	4 <u>.</u> 7
	45~49歳	46	2	6
		100.0	4. 3	13.0
居住地区	太田川	16	1	1
		1 <u>0</u> 00	6.3	<u>6.3</u>
	踏瀬	18	0	0
		100.0	0.0	0.0
	泉崎	109	8	5
		1 <u>0</u> 00	<u>7. 3</u>	<u>4. 6</u>
	北平山	42	2	3
		<u>100. 0</u>	4.8	7.1
	関和久	96	1 1	8
		100.0	1.0	8.3

# 働くことについて

# 問17 就労の有無と就労の場所

(SA)

# <総数>

○ 「村外」が51.9%と過半数を占めています。

# <性別>

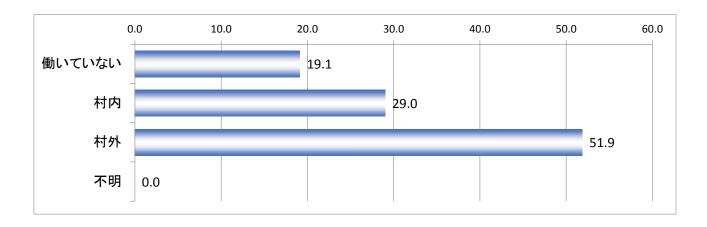
○ 総数と大きな違いは見られません。

#### <年齢別>

○ 24歳未満では「働いていない」が55.8%と半数を超えています。

# <地区別>

○ 太田川・踏瀬では「働いていない」が3割強と、他の地区より多くなっています。



			問17 就笑	分の有無と	就労の場所	Í
		合計	働いてい ない	村内	村外	不明
				) )	] 	
	全体	293	56	Ļ		0
1.11	I m tot	100.0	19. 1	29. 0		0.0
性別	男性	131	18		661	0
	<del> </del>	<u>100. 0</u>	<u>13. 7</u>			0.0
	女性	161	38	ſ		0
	r la	100.0	23. 6			0.0
年齢	18~24歳	52	29	li .		
		<u>100. 0</u>	<u>55. 8</u>	13.5		<u>0.0</u>
	25~29歳	27	4		17	0
		100.0	14.8			<u>0.0</u>
	30~34歳	45	7			0
		<u>100. 0</u>	<u> 15. 6</u>			<u>0. 0</u>
	35~39歳	58	6			0
		<u>100. 0</u>	10.3			0.0
	40~44歳	64	6			0
		<u>100. 0</u>	9.4		46.9	0.0
	45~49歳	46	3	14	29	0
		100.0	6.5	30.4	63.0	0.0
居住地区	太田川	16	6	4	61	0
		100.0	<u>37.</u> 5	<u>25. 0</u>		0.0
	踏瀬	18	6	3	9	0
		<u>100.</u> 0	33. 3	16.7	50.0	<u>0.0</u>
	泉崎	109	20	34	55	0
		<u>100. 0</u>	<u>18.</u> 3	31.2	50. 5	0.0
	北平山	42	6		27	0
		100.0	14.3	21.4	64. 3	0.0
	関和久	96	16			0
		100.0	16. 7			0.0

### <総数>

〇 該当者が56人という限られた回答数ですが、その中では「学生、主婦(夫)」が60.7% と最も多く、次いで「親や子の介護または子育て中」が25.0%となっています。

### <性別>

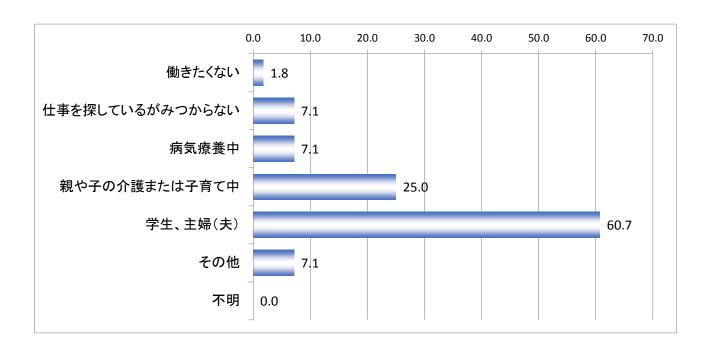
〇 男女ともに最も多いのは「学生、主婦(夫)」ですが、「親や子の介護または子育て中」は 男性の 0.0%に対し、女性では 36.8%となっています。

### <年齢別>

○ 29歳以下では「学生、主婦(夫)」が最も多くなっていますが、30~39歳では「親や子の介護または子育て中」、40~44歳では「病気療養中」、45~49歳では「仕事を探しているがみつからない」がそれぞれ最も多くなっています。

### <地区別>

○ 踏瀬では「学生、主婦(夫)」が 100,0%となっています。



			問17-1	働いていな	い理由					
		合計	働きたく	仕事を探	病気療養	親や子の	学生、主	その他	不明	非該当
			ない	している がみつか	中	介護また は子育て	婦(夫)	I	; ;	
				らない		中	 			
	全体	56	_	41	4	14		4	01	237
性別	男性	100. 0 18		7. 1	7. 1	25. 0 0		7.1	0.0	113
177/3/3	) II.	100.0		5. 6	5. 6	~	10		v	110
	女性	38	0	31	3	14		1	0	123
た本々	10 0445	100.0			7.9	36.8		2.6	0.01	0.0
年齢	18~24歳	29 _ <u>100</u> . <u>0</u>	0.0		0.0	1 3. 4	28 96. 6	1 0 1 0. 0	v	23
	25~29歳	$\overline{4}$	0	0	0	1	2	1	0	23
		100.0			0.0	25.0		25.0	0.0	
	30~34歳	7	0	[	0	6	_	0	01	38
	 35~39歳	100.0		0.0	0.0 2	85. 7	14.3	<u>0. 0</u>	0. 0 <sup>1</sup>	52
	00 00/450	100.0	16. 7	16. 7	33. 3		0.0	_	0.0	02
	40~44歳	6	0	1	2	2	2	1	0	58
	.== .=	1 <u>0</u> 00			33. 3	3 <u>3</u> . <u>3</u>		16.7	0.0	
	45~49歳	100.0	-	_	0. 0	0. 0	-	0.0	0. 0 <sup>1</sup>	43
居住地区	太田川	6		00.7	1	2				10
12.00	L	100.0	0.0	0.0	16. 7	33.3	_	0.0	-	
	踏瀬	6	0	ſ	0	0	_	0	0	12
		<u>100.</u> 0			0.0	<u>0.0</u>		0.0	0.0	
	泉崎	100.0		2	0	3 <sup>1</sup>			0 0	89
	 北平山	<u>100. 0</u>		10.0	0.0	15 <u>.</u> 0	65. <u>0</u>	10.0	0.0	36
		100.0	v	16. 7	0.0	33. 3	50. 0	16.7	0.0	
	関和久	16	0	1	3	6	8	1	0	80
		100.0	0.0	6.3	18.8	37. 5	50.0	6.3	0.0	

# 問17-2 現在の仕事の満足度(現在、働いている方限定)

(SA)

### <総数>

- 「まあまあ満足している」が56.5%と過半数を占めています。
- 〇 「十分満足している」「まあまあ満足している」を合わせた"満足派"が 68.3%、「あまり満足していない」「非常に不満である」を合わせた"不満派"が 30.8%と、"満足派"が "不満派"を上回っています。

### <性別>

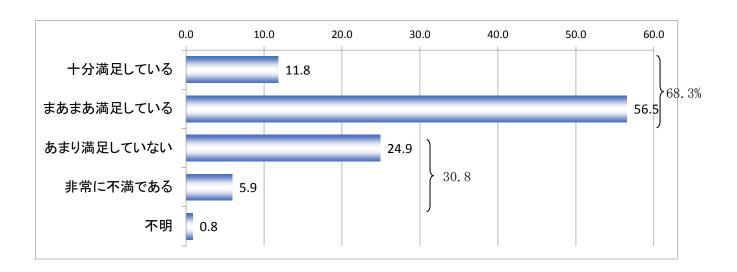
○ 総数と大きな違いはみられません。

### <年齢別>

○ 総数と大きな違いはみられません。

### <地区別>

〇 太田川では"満足派"が100%となっています。



			問17-2	現在の仕事	事の満足度	:		
		合計				非常に不 満である	不明	非該当
				いる	ない	]   		] 
	全体	237 100. 0	28 11. 8			l .		
性別	男性	113	14 12. 4	63	27	ı 8	1	18
	女性	123 100. 0	13 10. 6	71	32	6 <sub>1</sub> 4. 9	1	38
年齢	18~24歳	23	1	11	7	3	1	29
	 25~29歳	10 <u>0.0</u> 23	43 2	16	4	1	0	4
	30~34歳	100.0 38			10	1	0	7
	35~39歳	1 <u>00.</u> 0	7.9 6		13	3	1	6
	40~44歳	<u>100. 0</u>	10	29	16	3	0	6
	45~49歳	1 <u>00.</u> 0 43	1 <u>7.2</u> 6	25	9	31	0	3
居住地区	太田川	100.0		8	0	0	0	ı 6
	 踏瀬	100. <u>0</u> 12	<u>20.0</u> 0	6	5	1	0	6
		1 <u>00.</u> 0 89	0. <u>0</u> 13	50	21	8. 3 <sup>1</sup>	0	20
	北平山	100. <u>0</u> 36	14. 6 2	23	10	1	0	6
	関和久	1 <u>00.</u> 0 80	8	45	20	5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 -	2	16
		100.0	10.0	56. 3	25.0	6.3	2. 5	

# 問17-3 就労環境で改善して欲しいこと(現在、働いている方限定)

(MA)

## <総数>

〇 「給与」が41.4%最も多く、次いで「休みの日数(有休の取得など)」が32.1%、「職場の人間関係」が26.6%となっています。

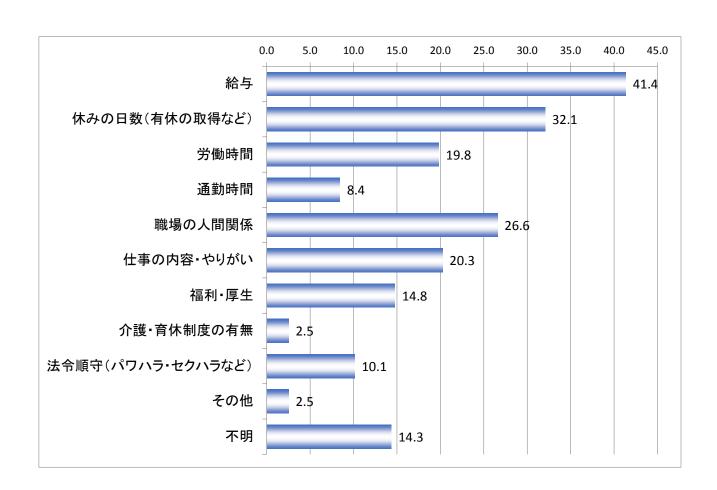
#### <性別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

#### <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

#### <地区別>



100.0   42.5   34.5   15.9   6.2   29.2   25.7   12.4   2.7   女性				問17-3	就労環境で	改善して	欲しいこ	と			
性別 男性 113 48 39 18 7 33 29 14 8 2.5 大性 123 49 37 28 13 30 18 21 3 3 10 8 5 10 6 24 4 14.6 17.1 2.4 年齢 18~24歳 23 10 8 5 11 9 8 4 11 1 4 1 1 2 8 1 2 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			合計	給与	数(有休 の取得な		通勤時間		容・やり	生	休制度の
性別 男性 113 48 39 18 7 33 29 14 3		全体	237	98	76	47	20	63	48	35	6
100.0   42.5   34.5   15.9   6.2   29.2   25.7   12.4   2.7     女性			100.0	41.4	32. 1	19.8	8.4	26.6	20.3	14.8	2. 5
女性     123     49     37     28     13     30     18     21     3       年齢     18~24歳     23     10     8     5     1     9     8     4     1     2.4       年齢     18~24歳     23     10     8     5     1     9     8     4     1     4     4       25~29歳     23     11     8     4     2     4     1     4     4     3       30~34歳     38     15     9     9     2     14     8     3     17.4     4.3       35~39歳     52     20     20     8     7     14     12     8     2     2.6       35~39歳     52     20     20     8     7     14     12     8     2       40~44歳     58     23     20     14     6     11     9     10     0       45~49歳     43     19     11     7     2     11     10     6     1       45~49歳     43     19     11     7     2     11     10     6     1       45~49歳     43     19     11     7     2     11     10     6     1	性別	男性									-
年齢 18~24歳 23 10 8 5 1 9 8 4 1 1. 4 1 1 4 1 1 2 25 6 16 3 4.7 25 6 23 3 14 0 8 5 1 9 8 8 4 1 1 4 1 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			_ +								
年齢 18~24歳 23 10 81 5 1 9 8 41 1 200.0 43.5 34.8 21.7 4.3 39.1 34.8 17.4 4.3 25~29歳 23 11 8 41 2 4 1 4 1 4 1 1 4 1 1 1 1 4 1 1 1 1		女性						ļ			
100.0   43.5   34.8   21.7   4.3   39.1   34.8   17.4   4.3   25~29歳   23   11   8   41   2   4   11   4   11   4   11   100.0   47.8   34.8   17.4   8.7   17.4   4.3   17.4   4.3   30~34歳   38   15   9   9   2   14   8   3   17.4   4.3   17.4   4.3   35~39歳   52   20   20   8   7   14   12   8   2   2   2   2   2   2   2   2							10.6				
25~29歳   23	年齢	18~24歳					_		_		
100.0   47.8   34.8   17.4   8.7   17.4   4.3   17.4   4.3   30~34歳   38   15   9   9   2   14   8   3   1   1.4   4.3   1.5   1.0   1								<u>39. 1</u>	34.8	. – – – –	4.3
30~34歳   38   15   9   9   2   14   8   3   1   1   100_0   39.5   23.7   23.7   5.3   36.8   21.1   7.9   2.6   35~39歳   52   20   20   8   7   14   12   8   2   2   100.0   38.5   38.5   15.4   13.5   26.9   23.1   15.4   3.8   40~44歳   58   23   20   14   6   11   9   10   0   10   0   100.0   39.7   34.5   24.1   10.3   19.0   15.5   17.2   0.0   45~49歳   43   19   11   7   2   11   10   6   1   100.0   44.2   25.6   16.3   4.7   25.6   23.3   14.0   2.3   2.3   2.5		25~29歳				4					1
100.0   39.5   23.7   23.7   5.3   36.8   21.1   7.9   2.6   35~39歳   52   20   20   8   7   14   12   8   2   20   20   8   7   14   12   8   2   20   20   8   7   14   12   8   2   20   20   8   7   14   12   8   2   2   20   20   14   13.5   26.9   23.1   15.4   3.8   40~44歳   58   23   20   14   6   11   9   10   0   0   10   0   10   0   15.5   17.2   0.0   10   0   10   0   15.5   17.2   0.0   10   0   10   0   15.5   17.2   0.0   10   0   10   0   10   0   10   0											
100.0   38.5   38.5   15.4   13.5   26.9   23.1   15.4   3.8   40~44歳   58   23   20   14   6   11   9   10   0   10   0   10   0   45~49歳   43   19   11   7   2   11   10   6   1   1   10   6   1   1   10   6   1   1   10   6   1   1   10   6   1   1   10   6   1   1   10   6   1   1   10   6   1   1   1   1   1   1   1   1   1		30~34歳			, .						
100.0   38.5   38.5   15.4   13.5   26.9   23.1   15.4   3.8   40~44歳   58   23   20   14   6   11   9   10   0   10   0   10   0   45~49歳   43   19   11   7   2   11   10   6   1   1   10   6   1   1   10   6   1   1   10   6   1   1   10   6   1   1   10   6   1   1   10   6   1   1   10   6   1   1   1   1   1   1   1   1   1							<u>5. 3</u>				2 <u>.6</u>
40~44歳   58   23   20   14   6   11   9   10   0   10   0   10   0   10   0   10   0		35~39歳					7				2
100.0   39.7   34.5   24.1   10.3   19.0   15.5   17.2   0.0   45~49歳   43   19   11   7   2   11   10   6   1   1   100.0   44.2   25.6   16.3   4.7   25.6   23.3   14.0   2.3   14.0											
45~49歳		40~44歳							_		-
居住地区 大田川 10 1 2 1 1 2 0 2 1 1 1 2 0 20 0 10 0 1		45 4045									
居住地区 大田川 10 1 2 1 1 2 0 2 0 1 1 2 0 1 1 2 1 1 1 2 0 2 0		45~49咸			1			F .		I	•
100.0   10.0   20.0   10.0   20.0   0.0   20.0   10.0   20.0	모산까다	+m111		44. 2			4. 7	25. 6			
踏瀬 12 5 5 1 0 4 4 1 1 2 1 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1	店住地区	本田川		10.0		_	10 0	20.0		_	-1
泉崎     89     29     31     20     6     26     25     14     2       北平山     36     18     4     4     5     10     4     8     1     15     7     29     2     28     1     15     7     2     2       北平山     36     18     4     4     5     10     4     8     1       関和久     80     40     30     20     7     17     13     7     0		1水洋岩			20.0						
泉崎 89 29 31 20 6 26 25 14 2 100.0 32.6 34.8 22.5 6.7 29.2 28.1 15.7 2.2 北平山 36 18 4 4 5 10 4 8 1 100.0 50.0 11.1 11.1 13.9 27.8 11.1 22.2 2 2.8 1 関和久 80 40 30 20 7 17 17 13 7 0		路隈			0 41 7						
100.0   32.6   34.8   22.5   6.7   29.2   28.1   15.7   2.2   1.2   1.3   1.4   1.5		自屹									
北平山 36 18 4 4 5 10 4 8 1 1 		プベ 単可					_				4
100.0		16 27 11 1								-	
関和久 80 40 30 20 7 17 13 7 0					_	_	_	i	Г	_	
		思和力									
		IRI/TH/A	100.0	50. 0	37. 5						~

			(続き)			
		合計	法令順守 (パワハ ラ・セク	その他	不明	非該当
			/ ハラな ど)			
	全体	237 100. 0	24 10. 1	6 2. 5		
性別	男性	113 100. 0	14 12. 4	3 2. 7	12	18
	女性	123 100. 0	10 8. 1	3 2. 4	22	
年齢	18~24歳	23	4 17. 4	0.0	3	
	25~29歳	23 1 <u>0</u> 00	1 4. 3	1 4. 3	4	4
	30~34歳	38 100. 0	6	1 2. 6	8	
	35~39歳	52	15. 8 7	0	7	
	40~44歳	10 <u>0. 0</u> 58 100. 0	13. 5 4	0.0	9	6
	45~49歳	43 100. 0	6.9 2 4.7	2 4.7	3	3
居住地区	太田川	100. 0 100. 0	0 0.0	0 0. 0	3	6
	踏瀬	12 100.0	0.0 1 8.3	0.0	1	6
	泉崎	89 100. 0	12 13. 5	3 3. 4	13	20
	北平山	36	4	2	4	6
	関和久	100 <u>.</u> 0 80 100. 0	1 <u>1. 1</u> 6 7. 5	5.6 1 1.3	10	16

# 問17-4 村外での就労場所(村外で働いている方限定)

(SA)

# <総数>

- 「福島県内」が94.7%と大半を占めています。
- 〇 県内では、「白河市」が 45.3%と半数近くを占め、次いで「矢吹町」が 13.3%、「西郷村」 が 12.5%となっています。

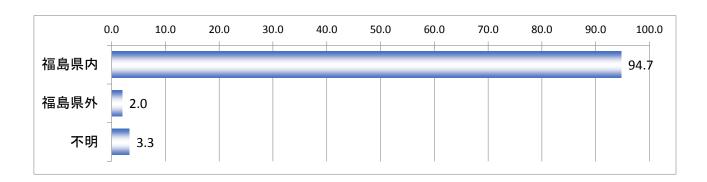
## <性別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

#### <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

## <地区別>



			問17-4	村外での家	尤労場所	
		合計	福島県内	福島県外	不明	<b>非該当</b>
				{		
					!	
	全体	152	144	3		141
	1	100. 0	94. 7	2.0	3. 3	
性別	男性	66	62	1	31	65
		100.0	93.9	1.5	4.5	
	女性	85	81	2	2	76
		100.0	95. 3	2.4	2.4	
年齢	18~24歳	16	15	h l	0	36
		<u>100. 0</u>	93.8	6.3	0. 01	
	25~29歳	17	15	0	21	10
		<u>100. 0</u>	88. 2	0.0	11.8	
	30~34歳	27	26		0	18
		<u>100.</u> 0	96. 3	3.7	0.0	
	35~39歳	33	33	0	0	25
		100.0	100.0	0.0	0.01	
	40~44歳	30	29	0	1	34
		1000	96. 7	0.0	3.3	
	45~49歳	29	26	1	2	17
		100.0	89. 7	3.4	6. 9	
居住地区	太田川	6	6	0	01	10
		<u>100. 0</u>	100.0	0.0	<u>0.0</u>	
	踏瀬	9	8	0	1	9
		100.0	88. 9	0.0	11.1	
	泉崎	55	53	1	1	54
		<u>100. 0</u>	<u>96. 4</u>	1.8	<u>1. 8</u> 1	
	北平山	27	23	1	31	15
		100.0	85. 2	3. 7	11.1	
	関和久	49	48	1		47
		100.0	98.0	2.0	0.0	

# 問17-5 村外就労者の村内居住の理由(村外で働いている方限定)

(MA)

# <総数>

〇 「現在の職場に働く前から住んでいたから(実家だから)」が61.8%と最も多くなっています。

#### <性別>

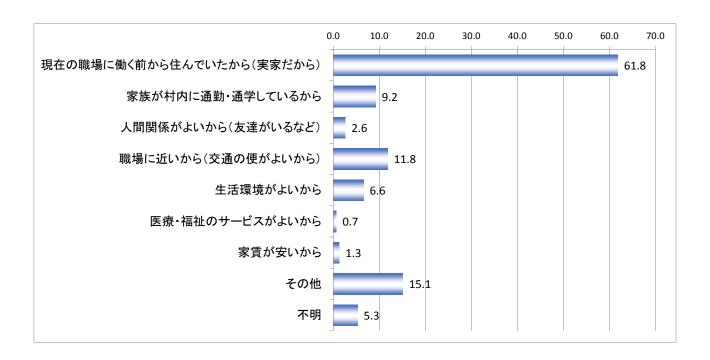
○ 総数と大きな違いはみられませんが、男性では「家族が村内に通勤・通学しているから」、 女性では「職場に近いから(交通の便がよいから)」が比較的多くなっています。

#### <年齢別>

〇 総数と大きな違いは見られません。

#### <地区別>

○ 踏瀬・泉崎・関和久では「職場に近いから(交通の便がよいから)」、泉崎では「生活環境がよいから」が他の地区に比べやや多くなっています。



			問17-5本	付外就労者	の村内居住	主の理由				
		合計	現在の職	家族が村	人間関係	職場に近	上汪厝倍	医療・福	家賃が安	その他
			場に働く	内に通	がよいか	I服物に近 Iいから		社のサー		· C V기III
			前から住	勤・通学	ら(友達	「交通の		ビスがよ		I
				している			ı	いから	ı	, ! !
			から(実	から	ど)	から)		1		ı
			家だか ら)	{		 	[	) 		I I
	全体	152	94	14	4	18	10	1	2	23
		100.0	61.8	9.2	2.6				1. 3	15. 11
性別	男性	66		2				. "!	1	
	1.10	100.0	62. 1	3.0		r — — — <u>-</u>			1.5	
	女性	85		Į.		8 9. 4	_	1. 2	1. 2 <sup>1</sup>	
年齢	18~24歳	100.0	61. 2	14. 1	1. 2				1. 2	15. 3 <sub>1</sub>
一面	10 24/100	100.0	68. 8	6.3	6. 3		1 -	آ " آ	0.0	_
	25~29歳	17	12	0				0	0	
		100.0	70.6	0.0	<u>11.</u> 8	<u>11. 8</u>	59	0.0	0.0	<u>11.</u> 8
	30~34歳	27	18	1		_	0	0	0	
	05 0045	100.0	66.7	3.7					0.0	
	35~39歳	33 100. 0	18 54. 5	4 12.1	0.0	_	2 6. 1	3. 0	0 0. 0	
	40~44歳	- 1 <u>00.0</u>		6		r = -1 <u>5. 2</u> 3		$ \frac{3.0}{0}$	0.00	
	10 11///00	100.0	63. 3	200	-	_	_	0.0	0.0	-
	45~49歳	29	16				4		2	
		100.0	55. 2	6.9	3.4		13.8		6.9	13.8
居住地区	太田川	6	5	0	-		0	. ~!	0	
	日水油菜	1000	83. 3	0.0		0.0		0.0	0.0	1
	踏瀬	100.0	5 55. 6			1	L	, ,	0. 0	
	泉崎	55	30		2			. – – – 1	1	9
	24.4.0.0	100.0	54. 5		3.6		-	_	1.8	_
	北平山	27	18			1		0	1	
		100.0	66. 7			<u>3. 7</u>		0.0	3. 7	
	関和久	49	34			6		0	0	
		100.0	69. 4	12. 2	2.0	12. 2	2.0	0.0	0.0	14. 3

			(続き)	
		合計	不明	非該当
			' ' ' '	
				}
	全体	152	8	141
	T	100.0	5. 3	
性別	男性	66	4	65
	 女性	100.0	6. 1	7.0
	女性	100.0	4	76
年齢	18~24歳	100. 0 16	4.7	36
一面	10 - 24///	100.0	6.3	30
	25~29歳	17	2	10
		100.0	11.8	
	30~34歳	27	0	18
		1 <u>0</u> 00	0.0	
	35~39歳	33	2	25
		<u>100. 0</u>	6.1	
	40~44歳	30	2	34
		100_0	<u> </u>	\ <u>_</u>
	45~49歳	29	1	17
居住地区	太田川	100.0	3. 4	10
冶工地区	ЖШЛ	100.0	0.0	10
	踏瀬	1 - 100.0	3	9
	PHIA	100.0	33. 3	Ĭ
	泉崎	55	2	54
		<u>100. 0</u>	36	L =
	北平山	27	2	15
		100.0	7.4	<del>  </del>
	関和久	49	1	47
		100.0	2.0	}

(SA)

## <総数>

○ 「就職・転職の希望はない」が50.9%と最も多くなっています。

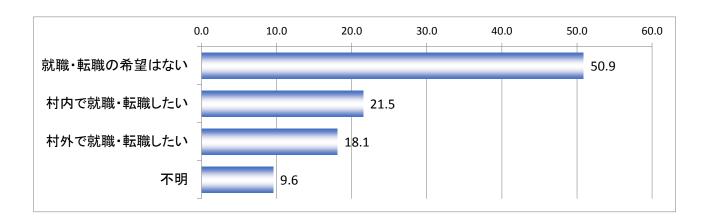
#### <性別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

#### <年齢別>

○ 18~24歳では「村外で就職・転職したい」が32.7%と最も多くなっています。

## <地区別>



			問18 就職	哉・転職の希	6望	
		合計	職の希望	村内で就 職・転職 したい	職・転職Ⅰ	不明
					I I	
	全体	293	149	631	53	28
		100.0	50.9		18. 1	9.6
性別	男性	131	74	28	191	10
		<u>100. 0</u>	<u>56.</u> 5	21.4	<u>14. 5</u>	7 <u>.</u> 6
	女性	161	74	351	34	18
		100.0	46.0	21. 71	21. 1	11.2
年齢	18~24歳	52	12		17	14
		<u>100. 0</u>	<u>23. 1</u>	17.3	32.7	<u>26.</u> 9
	25~29歳	27	14	7	31	3
		100.0	51.9	<u>25. 9</u>	11.1	<u>11. 1</u>
	30~34歳	45	23	101	11	1
		100.0	51.1		24. 4	2.2
	35~39歳	58	33		9	1
		100.0	<u>56. 9</u>	25. 9	1 <u>5.</u> <u>5</u> 1	1.7
	40~44歳	64	40	8	8	
		100.0	62. 5	12. 5	12.5	<u>12. 5</u>
	45~49歳	46	26	141	5	1
		100.0	56. 5		10.9	2.2
居住地区	太田川	16	7	4	21	3
		<u>100. 0</u>	43.8	<u>25.</u> 0	<u>12. 5</u>	<u>1</u> 8.8
	踏瀬	18	7	5 i	4	2
		100.0	38.9		22 <b>.</b> 2	<u>11. 1</u>
	泉崎	109	55		26	6
		<u>100. 0</u>	<u>50.</u> 5	20. 2	<u>23. 9</u> ı	5 <u>.</u> 5
	北平山	42	24		61	_
		100.0	<u>57. 1</u>	16.7	<u>14.</u> 3	<u>11. 9</u>
	関和久	96	51	211	13	11
		100.0	53. 1	21. 9I	13. 5	11.5

(SA)

### <総数>

〇 「工業」が30.2%で最も多く、次いで「公務員」が19.0%、「商業・サービス業」が17.5%となっています。

#### <性別>

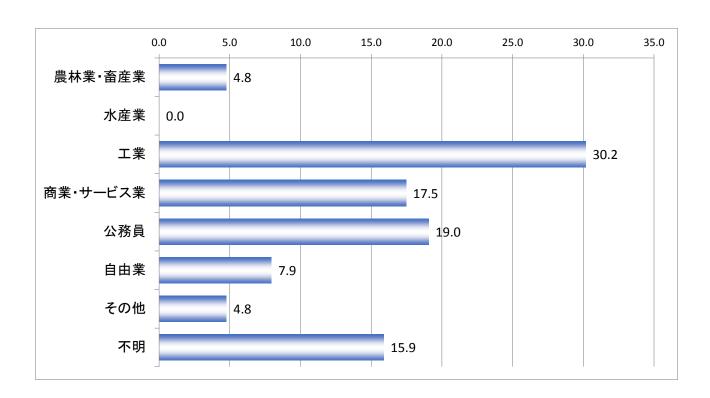
〇 男性では「工業」や「自由業」、女性では「商業・サービス業」が比較的多くなっています。

#### <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

#### < 地区別>

O 泉崎と関和久では「工業」が、踏瀬と北平山では「公務員」が他の地区と比べて多くなっています。



			問18-1	転職する場	易合の希望	職種				
		合計	農林業・ 畜産業	水産業	工業	商業・  サービス  業	_公務員       	l自由業 I I	その他 I	不明
	全体	63	-						_	10
		100.0	4.8	0.0	30. 2	17. 5	19.0	7.9	4.8	15. 9
性別	男性	28	l	0	11		6			3
		<u>100. 0</u>	71	0.0	<u>39. 3</u>	7 <u>.</u> 1	21.4	14.3	0.0	<u>10. 7</u>
	女性	35	1	0		9	-	1	3	
		100.0	2. 9					2. 9		
年齢	18~24歳	9	_	0	-	2	_	0	0	
	25 2045	100.0	11.1	0.0		22.2				
	25~29歳	7	1	0	_	-	_	-	_	2
	20 2145	<u>100. 0</u>		0.0						
	30~34歳	100		0	_	1 1	_	0	0	
	25 - 20-5	100.0		0.0		10.0			<u>0</u> . <u>0</u>	1
	35~39歳	15 100. 0		0.0	6 40. 0	_	6.7		6.7	2 13. 3
	40~44歳	100.0	0.7	0.0		3			0.7	
	40 - 44/成	100.0	-	0.0		No.		_		•
	45~49歳	14	0.0	0.0		2		7	1	
	10 13///00	100.0	0.0	0.0	_	14. 3	-	21.4	7. 1	
居住地区	太田川	4	0.0	0.0	0		1	1	0	1
			0.0	0.0	0.0	<u>25.</u> 0	25. 0	25. 0	0.0	25.0
	踏瀬	5	1	0		1		0		
		100.0	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	泉崎	22	1	0	8	4	<b>1</b> 3	1	2	
		_ 100.0	4.5	0.0	36.4	<u> </u>	13.6	4.5	9.1	13.6
	北平山	$ \frac{1}{7}$ $ \frac{1}{7}$	0	0	0		3		0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	28.6	0.0	14. 3
	関和久	$\frac{1}{21}$	1	} 0	_	$\frac{1}{4}$			1	4
		100.0	4.8	0.0	38. 1	19. 0	14.3	0.0	4.8	19.0

		1	
			(続き)
		合計	非該当
		H P1	71 100
	A / I		
	全体	63	230
性別	男性	100.0	103
生加	为性	100.0	103
	女性	35	126
	J 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	100.0	
年齢	18~24歳	9	43
		100.0	
	25~29歳	7	20
		100.0	<u>-</u>
	30~34歳	100	35
	 35~39歳	100. <u>0</u>	43
	33 - 33病疾	100.0	
	40~44歳	8	56
	L	<u>100. 0</u>	
	45~49歳	14	32
		100.0	
居住地区	太田川	4	12
	다가 가르.	100.0	
	踏瀬	100.0	13
	 泉崎	100. <u>0</u> 22	87
	刀尺甲町	100.0	01
	北平山	7	35
		<u>100. 0</u>	
	関和久	21	75
		100.0	

(MA)

#### <総数>

〇 「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」が 49.8%と最も多くなっており、次いで「学校、企業等と連携したキャリア教育の推進など若者の人材育成」が 27.3%、「生活性向上や商圏拡大の支援などによる商工業の振興」が 24.9%となっています。

### <性別>

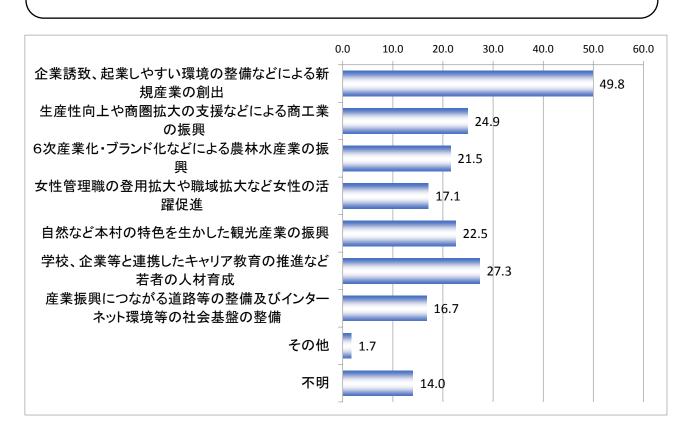
○ 男女ともに最も多いのは「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」となっていますが、「女性管理職の登用拡大や職域拡大など女性の活躍促進」については、 男性の7.6%に対し、女性では24.8%となっています。

#### <年齢別>

○ 総数と大きな違いは見られません。

#### <地域別>

○ 踏瀬と泉崎では「学校、企業等と連携したキャリア教育の推進など若者の人材育成」が、 他の地区に比べ多くなっています。



			問19 地域	経済活性	化へ向けて	て取り組む	べきこと				
		승計	しやすい	上や商圏 拡大の支 援などに よる商工	化・ブラ ンド化な どによる 農林水産	職の登用 拡大や職 域拡大な ど女性の	色を生か した観光 産業の振 興	業等とは 等しいのと とたりのと人 でが が が が れ が れ が る の が る の ん の ん の ん の ん の ん の ん の ん の ん の ん の	びイン ターネッ	その他	不明
	全体	293 100. 0	146 49. 8	73 24. 9		50 17. 1	-	80 27. 3	49 16. 7		41 14. 0
性別	男性	131 100. 0	79 60. 3	38 29. 0	30	10	30	32	28	2	12
	女性	161 100. 0	60. 3 67 41. 6	29. 0 35 21. 7	32	40	35	48	20	1. <u>5</u> 3 1. 9	9. 2 29 18. 0
年齢	18~24歳	52 100. 0	16 30. 8	11 21. 2	-	10 19. 2		15 28. 8	1 1. 9	0 0.0	13 25. 0
	25~29歳	27 100. 0	18 66. 7	6 22. 2		5	1 3. 7	7	4	1 3. 7	2
	30~34歳	45	16	12	8	9	9	11	7	1 2. 2	8
	35~39歳	100.0 58 100.0	3 <u>5. 6</u> 31 53. 4	$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	12		15			2 3. 4	6
	40~44歳	64 100. 0	42 65. 6	15	20	11	19	13	17	1. 6 <sup>l</sup>	8
	 45~49歳	46 100. 0	22 47. 8	23. 4 17 37. 0	10	_ <u>1</u> 7 <u>.</u> 2 5 10.9	12	203 19 41. 3		0	<u>12.</u> 5 4 8. 7
居住地区	太田川	16 100. 0	6 37. 5	3 18 <u>.</u> 8	4	2		1	3	0.0	2
	踏瀬	18 100. 0	9	2	5 278	3	3	7		0.0	2
	泉崎	109	50. 0 50	32	25	16. <u>7</u>	28	37	20	4	11
	北平山	1 <u>0</u> 0 <u>.</u> 0 42	45. 9 24	29. 4 10	12		10	-		3 <u>.</u> 7	
	関和久	100. <u>0</u> 96 100. 0	57. 1 50 52. 1	23. 8 23 24. 0	13	18		23	17	0. <u>0</u> 1 1. 0	19

# 学生に対する今後の進学や就職の希望について

# 問20 通学先

(SA)

#### <総数>

- 〇 学生は回答者のうち 29 人で、そのうち「福島県内」が 34.5%、「福島県外」が 65.5% となっています
- 県外では東京都が5人と最も多く、次いで宮城・栃木・埼玉県がそれぞれ3人となっており、県内では郡山市が4人と最も多く、次いで白河市が2人となっています。

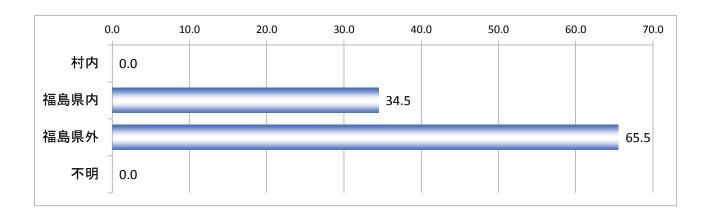
## <性別>

○総数と大きな違いは見られません。

#### <年齢別>

○ 29 人すべてが 18~24 歳に該当しているため、総数と同じ内容です。

#### <地区別>



			問20	通学	先			
		合計	村内		福島県内	福島県外	不明	非該当
					 	] ]	! !	
	全体	29 100. 0		0.0				264
性別	男性	13 100. 0		0.0	5	8 61. 5	0	118
	女性	16 100. 0		0.0	5	11	0	
年齢	18~24歳	29		0.0	10	19	0	23
	25~29歳	0.0		0 0. 0	0	0	· 0	27
	30~34歳	0.0		0.0	0	i 0	0	45
	35~39歳	0.0		0 0. 0	0.0	0.0	0	58
	40~44歳	0.0		0.0	0	0	0	64
	45~49歳	0.0		0.0	0	0	0	46
居住地区	太田川	3 100.0		0 0.0	1	2	0	13
	踏瀬	6		0.0	2	4	0	12
	泉崎	11 100. 0		0 0. 0	5	6 54. 5	0	98
	北平山	100.0	. – –	0 0. 0	0	3 100.0	0	39
	関和久	5 100. 0		0 0. 0	1	4	0	

(SA)

#### <総数>

- 「村を出て進学・就職したい」が48.3%と最も多く、「村内に住みながら進学・就職したい」は20.7%となっています。
- なお、「わからない」が31.0%となっています。

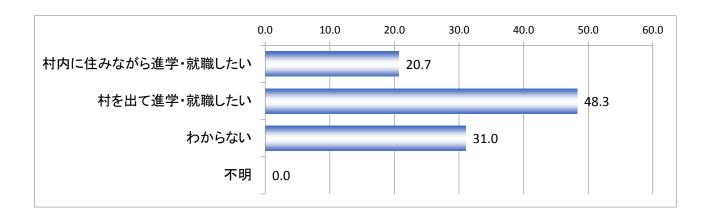
#### <性別>

〇 男性では「わからない」が 53.8%、女性では「村内に住みながら進学・就職したい」が 68.8%とそれぞれ最も多くなっています。

#### <年齢別>

○ 29 人すべてが 18~24 歳に該当しているため、総数と同じ内容です。

#### <地区別>



			BB01 光光	や就職に	+ + - T	고 모 (구 lill)	
			同21 進守 	いが見ばに	めたつ(り	り店住地	
		合計	おおけた	村を出て	わかとな	不明	非該当
		一百百	アントンバン	進学・就	わかりな L	小奶 	<b>非</b> 該目
				進子・肌  職したい			l
					<u> </u>	]	]
		29	職したい 6		l 9	. 0	264
	主冲	100.0		14 48. 3	1		
性別	男性	13		40. 3	31. 0		118
1生为1	为性	100.0		ე ეე 1	•		
	女性	100.0		23. 1 11			
		100. 0	_		_		
年齢	18~24歳	29					
一   西巾	10 24成	100.0		48. 3			i
	 25~29歳	$\frac{1}{1} - \frac{1}{100} \cdot \frac{0}{0}$	$\begin{bmatrix} - & \frac{20.1}{0} \\ 0 & 0 \end{bmatrix}$	0	0		27
	20 - 23 成	0.0	ŭ	,	_		
	 30~34歳	0.0	0.0			T	
	30 - 3年成	0.0	Ŭ	_		Ŭ	45 
	35~39歳	0	<del>0. 0</del>	$  \frac{0.0}{0}  $	<u>- 0. 0</u>		 58
	30 33///	0.0	0.0	0.0	Ī	_	l Jo
	 40~44歳	+ <del>0. 0</del>	<u>-0.0</u>	0,			64
	40 44/00	0.0	Ŭ	,	Ŭ		
	45~49歳	<del>0</del>	<del>0. 0</del>			r – – – –	
	10 13///	0.0	Ŭ	_	-	I	
居住地区	太田川	3	0.0	1	2		13
石工地区	ЖЩЛ	100.0	0.0	33. 3	_	Ī	
	 踏瀬	1 - 100. 6	2	2			
	PH VIX	100.0	33. 3		_	1	
	泉崎	11	2	6	3		. – – – 1
	7/7/44	100.0	_	Ŭ	27. 3	F	
	 北平山	3	0		1		
		100.0	_		_	_	
	  関和久	5	2.0	2		т <u>о. о</u>	
	INTER S	100.0	40. 0	r — ·	_	-	

問21-1 村内に住みながら通学・就職をしたい理由(村内に住みながら 進学・就職したい方限定)

(MA)

#### <総数>

○ 該当者は6人で、特に偏った傾向は見られません。

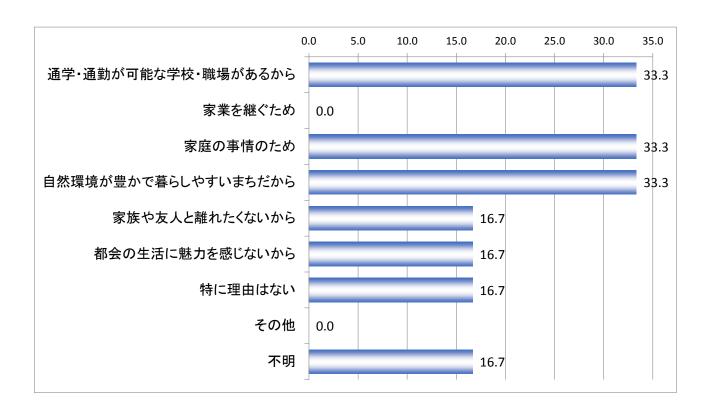
#### <性別>

○ 特に偏った傾向は見られません。

#### <年齢別>

○ 6人すべてが 18~24 歳に該当しているため、総数と同じ内容です。

# <地区別>



			問21-1	村内に住み	みながら通	学・就職	をしたい理	<b>里</b> 由				
		合計	通学・通 動が学校・ 職場があ るから	家業を継ぐため	I	が豊かで	人と離れ たくない から	都会の生 活に魅力 を感じな いから	はない	その他	  不明       	非該当
	全体	6 100. 0	2 33. 3	0 0. 0		_	1 16. 7	1 16. 7		0 0. 0	-	287
性別	男性	100.0	1	0	_	1	_ ~	0	0		1	128
	女性	100.0 3 100.0	33. 3 1 33. 3	0.0 0 0.0	1	1	0.0 1 33.3	1		0 <u>.</u> 0 0 0.0	0	158
年齢	18~24歳	6	2	0	2	2	1	1	1	0	1	46
	25~29歳	100.0	33.3	0.0	0	0	· 0	16.7	1 <u>6</u> . <u>7</u>	0	0	27
	 30~34歳	0.0	00	0.0	0	i 0	0	0.0	0	0	0	45
	35~39歳	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	00
	40~44歳	0 <u>0</u>	0	0. 0 0 0. 0	0		0	0		0	0	64
	45~49歳	<u>0.0</u> 0.0	0.0 0 0.0	0.0	0	ı 0	0	0	0	0	·	46
居住地区	太田川	0.0	0.0	0.0	ı 0	0	0		0.0	0	0	16
	踏瀬	100.0	1 50. 0	0.0	1	1	0	0	0	0	0	16
	泉崎	100.0	1 50. 0	0.0	1	50. 0 50. 0	1	1		0	0	107
	北平山	0,0	0, 0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	42
	関和久	100.0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	94

		_		
			(続き)	
		合計	不明	非該当
				}
				}
	全体	6	1	287
		100.0	16. 7	
性別	男性	3	1	128
	·	100.0	33.3	
	女性	3	0	158
		100.0	0.0	
年齢	18~24歳	6	1	46
		<u>100. 0</u>	16.7	
	25~29歳	0	0	27
	<b> </b>	0.0	0.0	
	30~34歳	0	0	45
		0.0	0.0	
	35~39歳	0	0	58
		0.0	0.0	
	40~44歳	0	0	64
		0.0	0.0	
	45~49歳	0	0	46
		0.0	0.0	
居住地区	太田川	0	0	16
		0.0	0.0	
	踏瀬	2	0	16
		100.0	0.0	ļ
	泉崎	2	0	107
		<u>100. 0</u>	00	<u> </u>
	北平山	0	0	42
		0.0	0.0	]
	関和久	2	1	94
		100.0	50.0	

# 問21-2 希望する進学・就職先(村を出て進学・就職したい方限定)

(SA)

#### <総数>

- 対象者は 14 人で、「福島県外」が 64.3%、「福島県内」が 35.7%となっています。
- 福島県外で具体的な回答があったのは6人で、内5人が東京都となっています。
- 福島県内で具体的な回答があったのは3人で、内2人が白河市となっています。

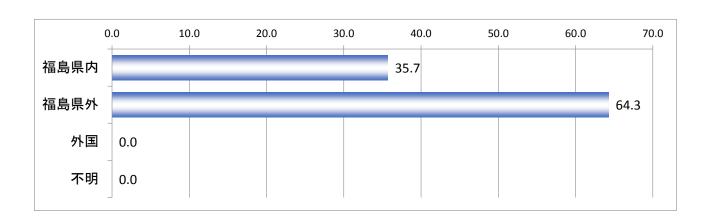
#### <性別>

○ 男性は3人で、全員が「福島県外」となっています。

#### <年齢別>

○ 14人すべてが18~24歳に該当しているため、総数と同じ内容です。

#### <地区別>



			問21-2	希望する道	進学・就職	先	
		合計	福島県内	福島県外	外国	不明	非該当
					-   	 	 
	全体	14 100. 0		9 64. 3	_		
性別	男性	3	0	3	0	0	128
	女性	100.0	5	100. 0	•	0	150
年齢	18~24歳	100.0	5	54. 5	0	0	38
	 25~29歳	$\frac{1}{0}$ $\frac{100}{0}$ $\frac{0}{0}$	0	64. 3	00	ı 0	27
		0.0	0.0	ſ	0	0	45
	35~39歳	0.0	0	0	0	0	58
	 40~44歳	$\frac{1}{0}$	0	0.0	0	0	64
	 45~49歳	0.0	0	0.0	0	0	46
居住地区	太田川	0. 0 1 100. 0	0	_	0	0	15
	 踏瀬	2	0	2		0	16
	泉崎	100.0	3	3	0	0	103
	北平山	$\frac{1}{2}$	50.0	2	_ <u>0</u> . <u>0</u>	0	40
	関和久	100. 0 2 100. 0	1	1	0	$\frac{1}{1} - \frac{1}{1} - \frac{1}{1} = \frac{1}{1}$	ı 94

# 問21-3 転出する理由(村を出て進学・就職したい方限定)

(MA)

#### <総数>

〇 「泉崎村にいては、就職の受け入れ口がすくないから」が 42.9%と最も多く、次いで「その他」が 35.7%、「自立したいから」が 28.6%となっています。

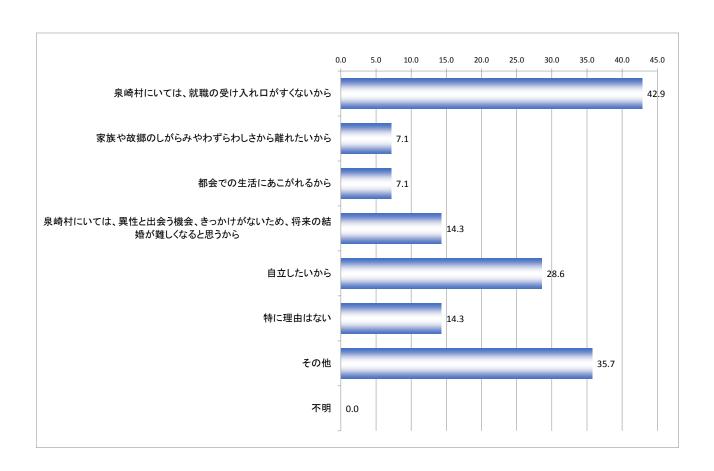
#### <性別>

○ 対象者が限られるため、性別の傾向を分析することは困難です。

#### <年齢別>

○ 14人すべてが 18~24歳に該当しているため、総数と同じ内容です。

#### <地区別>



			問21-3	転出する理	<b>里</b> 由					
		٨٩١	ń.e.lu-	<u> </u>	+m A	力はよい。	<u> </u>	(de ) = vitt . L.	7	
		合計	泉崎村に いては、 就職の受	郷のしが らみやわ	生活にあこがれる	Iいては、 「異性と出		特に埋田	その他 ! !	不明
				ずらわし さから離 れたいか	! !	会う機 会、きっ かけが			 	
				6	 	いため、 1将ががなる がなながる はうから			1	
	全体	14	6	1	1	1 2	4	2	5	0
		100.0	42. 9	7. 1	7. 1		28. 6	14. 3	35. 7	0. 0
性別	男性	3 100. 0	33. 3	0.0	0 0.0		0 0. 0	0 0. 0	2 66. 7	
	女性	11 100. 0	5 45, 5	1 9.1		2	36. 4	2 18. 2	31 27. 3	0
年齢	18~24歳	14	6	1	1	1 2	41	21	5	0
	25~29歳	100.0	42.9 0	7. 1 0		0	0	14.3	35. 7	0
	30~34歳	0 <u>.</u> 0	<u>0. 0</u>	<u>_00</u>	0	i	0	0. 0 0	0.0	0
	35~39歳	0.0	0.0 0	, -	-	0	0	0. 0	0.0 0	0
	40~44歳	0 <u>. 0</u>	0	<u>_00</u>	0	1 0	0	0	0.00	0
	45~49歳	0.0		0.0	0	ı 0	01	<u>0. 0.</u> 0	<u>0. 0</u>	01
居住地区	太田川	0.0	0.0	0.0		0		0. 0	0. 0 1	
	踏瀬	1 <u>00.</u> 0	0.0 1	<u>_00</u>	0	0	1	0 <u>.</u> 0	100. 0	0
	泉崎	100. 0 6	50. 0 2	0. 0 1	0	0	1	0. 0 1	<u>0. 0</u> 3	0
	北平山	100. 0 2	33.3	16. 7 0	_	1	1	16. 7 0	50. 0 1	
	関和久	1 <u>00</u> 0	50.0 1	<u>_0</u> . <u>0</u>	0	i	1	0. 0 1	5 <u>0</u> . <u>0</u> 0	0
		100.0	50.0	0.0	0.0	ı 0.0	50. 0	50. 0	0.0	0.0

			(続き)
		合計	非該当
	A 11		
	全体	14 100. 0	
性別	男性	3	128
		100.0	
	女性	11	150
年齢	18~24歳	100. 0	
一一周巾		100.0	
	25~29歳	0	
		0.0	
	30~34歳	0.0	
	35~39歳	0.0	1 1
		0.0	
	40~44歳	0	64
	 45~49歳	<sup>0</sup> . <sup>0</sup>	46
	45 45/4X	0.0	
居住地区	太田川	1	15
	thek seed	100.0	
	踏瀬	2 1 <u>0</u> 0.0	16
	泉崎		
	, ,	100.0	
	北平山		
	関和久	100.0	
	闭心	100.0	

# 問21-4 将来的な泉崎村へのUターン意向(村を出て進学・就職したい 方限定)

(SA)

#### <総数>

- 〇 「一旦は泉崎村以外で働き、一定の時期(例えば定年)がきたら戻る(戻りたい」「戻る気はまったくない」がそれぞれ21.4%と最も多くなっています。但し、「卒業後、直ぐに戻る(戻りたい)」「泉崎村以外で数年間働き、働く場があれば直ぐに戻る(戻りたい)」「一旦は泉崎村以外で働き、一定の時期(例えば定年)がきたら戻る(戻りたい)」を合わせた"一定の条件が整えば戻りたい"が42.8%と半数近くになっています。
- 〇 また、「戻りたいが、働く場が限られるので戻らない(戻らない予定)」、「戻りたいが、生活する場としては不便なので戻らない(戻らない予定)」を合わせた、"戻りたいが戻らない"が 14.2%となっています。

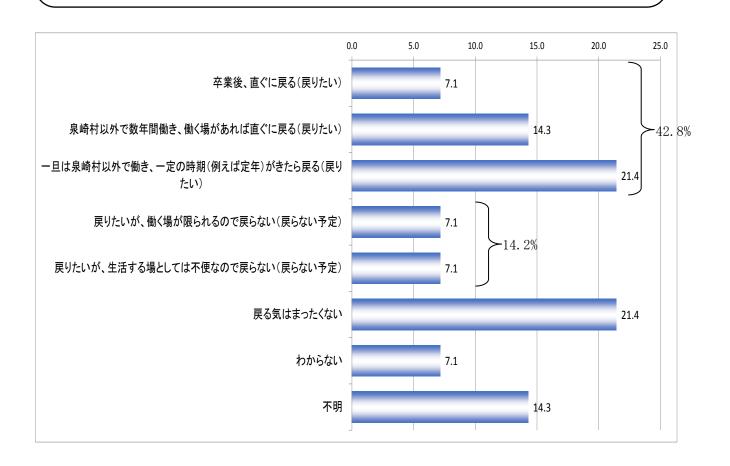
#### <性別>

○ 対象者が限られるため、性別の傾向を分析することは困難です。

#### 〈年齢別〉

○ 14人すべてが 18~24歳に該当しているため、総数と同じ内容です。

#### <地区別>



			問21-4	将来的な身	見崎村への	Uターン:	意向			
		合計	卒業後、 直ぐに戻 る(戻り たい)	外 間 働 く い に 戻 り に 戻 り に に り い に り い に り い に り い に り い に り い に り い い い い	崎村以外 で働き、 一定の時 期(例え	が、場が、 場がるのなら に い で い り で い り で り で り で り で り で り で り で	戻りたい 大生活 するではない 便ななない 戻戻らないないないないないないないない。	まったく!		不明
	全体	14 100. 0	_	2 14. 3	_	1 7. 1		3 21. 4	1 7. 1	_
性別	男性	3 100. 0	0	0	1	0	1	0	1	0. 0
	女性	11 100. 0	9. 1	2 18. 2	2	9. 1		3 27. 3	0 0. 0	1
年齢	18~24歳	14 100. 0	1 7. 1	2 14. 3	3	1 7. 1	1	3 21. 4	1 7. 1	
	25~29歳	0, 0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30~34歳	0 0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
	35~39歳	0 0.0		0		i 0		0	0	
	40~44歳		0	0	0	0	0	0	0	0
	45~49歳	0.0	0. 0 0. 0	0.0 0 0.0	0	<u>0.0</u> 0	0	0	0	0
居住地区	太田川	100.0	0.0	1	0	0	0	0	0	0
	踏瀬	100.0	0	0	0		1	1	0.0	0
	泉崎	6	1 16.7	0		0	0	2	1	,
	北平山		0	0	2	0	0	0	0	0
	関和久	100. 0 2 100. 0	0. 0 0 0. 0	0	0	0.0 1 50.0	0	0. 0 0 0. 0	0	1

			,
		合計	非該当
	全体	14 100. 0	279
性別	男性	3 100. 0	128
	女性	11 100. 0	150
年齢	18~24歳	14 1 <u>0</u> 00	38
	25~29歳	0	27
	30~34歳	0.0	45
	35~39歳	0.0	58
	40~44歳	0.0	64
	45~49歳	<u>0</u> . <u>0</u> 0 0. 0	46
居住地区	太田川	100.0	15
	踏瀬	100.0	16
	泉崎	100. <u>0</u> 6 1 <u>0</u> 0. 0	103
	北平山	100.0 2 100.0	40
	関和久	100.0	94

# 自由意見

- 101人から回答があり、意見総数は128件となっています。
- 意見の分類と、その主な内容は以下の表に示すものです。

		件数
1	子育て支援サービスの充実	18
	子育てしやすい村にしてほしい。	
	子どもたちが集まって遊べる公園が必要。	
	子育てに関する各種補助を充実してもらいたい。	
	幼稚園・保育園の保育時間を延長してもらいたい。	
	保育園と幼稚園の一体化が望ましい。	
2	交通環境の充実	12
	車が運転できなくなったときに不安である。	
	道路・歩道・街灯の整備が必要。	
	デマンドカー的なシステムも検討すべき。	
3	産業の振興や雇用力の強化	1 1
	企業の誘致を図るべき。	
	村内で再就職・転職しやすい環境づくりを進めてもらいたい。	
	基幹産業である農業の振興が大切。	_
4	買物等、商業サービス環境の充実	1 1
	ショッピングモールのような買物空間がほしい。	
	商業施設を充実し、物価を下げてもらいたい。	
	スーパーマーケットやドラッグストアといった生活密着型の施設が必要。	
5	計画的なまちづくりへの取り組み	1 0
	アンケート等の住民意向を組み込んだまちづくりに取り組んでもらいたい。	
	子ども対応だけでなく、バランスのとれたまちづくりが必要。	
6	財政運営の見直しや住民の税負担の軽減対策	1 0
	住民の生活への重点的な配分を考えた財政運営に取り組んでもらいたい。	
	税金を安くし、住民還元を図ってもらいたい。	
7	住民や来訪者が集まれる場や機会作り	9
8	個性的なまちづくりへの取り組み	7
9	住宅の確保や住環境の整備	6
10	職員体制の見直しや質の充実	5
11	交通安全等、生活安全対策の充実	5

12	自然環境の保全対策	3
13	移住対策の促進	2
14	総合的な福祉・医療対策の充実	2
15	住民への広報や情報伝達の充実	2
16	その他	1 5
	住民の自立・自律が重要。	
	教育の質の向上を図ってもらいたい。	
	空き家に対する対策が必要。	
	議会の若返りが必要。	